

福井大学医学部広報誌

くさリかう



No.88

APRIL / 2025

格致によりて
人と社会の未来を拓く



国立大学法人

福井大学

愛と医術で 人と社会を健やかに

With Love and Medicine,
Making People and Society Sound

真理を探究する知への愛

それは、古代ギリシャの哲学者プラトンや医学の父ヒポクラテスが最も信頼を寄せた愛、すなわち、自分自身の「無知」を自覚し、つねに真理の側へと身を置き、それを不断に求め続けることを自らに課す、極めて厳しい愛です。私たちは、最新の医学・看護学知識や技術を学び、修練すると共に、次世代の医学・看護学を開拓する研究を推進します。

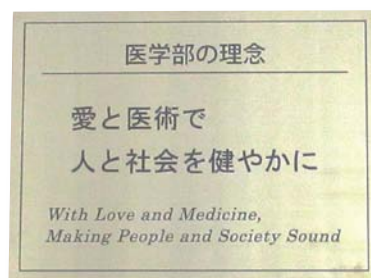
人命を尊重し人間に共感する人への愛

それは、病に臥しているようが無かるうが、日々の生活を営む人々のために自らの知識と知恵を捧げようと志す、徹底した無我の愛です。私たちはその具体的な姿を、福井藩蘭方医、笠原良策（白翁）（1809-1880）に見出します。笠原は、幕末まで死病として恐れられた天然痘の流行を食い止めるため、既存の医学や因習に囚われることなく、常に最先端の医学を探究し続けた「知への愛」の実践者であると同時に、自らの命を賭して種痘の普及と実施に尽力し、人と社会の健康に一生を捧げた人物に他なりません。私たちは、旧福井医科大学学歌に謳われた“杏林愛に芳しき”医療従事者や研究者を育成、輩出し、人と社会を健やかにする事に貢献します。

医学部理念を掲示しました

医学部理念は、2016年に医学部教職員、学生及び卒業生等から意見を募り、2017年4月、医学部理念「愛と医術で人と社会を健やかに」と制定しました。「理念」には「真理を探究する知への愛」と「人命を尊重し人間に共感する人への愛」の二重の意味が包含され、福井県及び福井大学医学部（前身の福井医科大学）の歴史を踏まえたものです。

講義棟玄関の合併講義室側の壁と、看護学科棟2階ラウンジ掲示板上方に、医学部理念を掲示しました。



もくじ CONTENTS >>>

寄稿

- | | | | |
|---|--|-----------|-------|
| 2 | 入学を祝して | 福井大学長 | 内木 宏延 |
| 3 | 歓迎のことば ～松岡キャンパスへようこそ | 医学部長・医学科長 | 菊田健一郎 |
| 4 | 歓迎の言葉 読書、芸術、恋、旅、あなたが打ち込めるものがあなたの人生を豊かにします。 | 医学部附属病院長 | 藤枝 重治 |
| 5 | 福井大学で育むしなやかな知力 | 看護学科長 | 四谷 淳子 |

新入生のみなさんへ

- 6 学生支援体制について
- 8 医学図書館へようこそ♪
- 10 グローバル人材育成研究センターのご案内

健康・相談

- 12 松岡キャンパス 保健センターのご案内
- 14 令和7年度 学生定期健康診断等日程表
- 15 こころの健康について、考えてみませんか
- 16 学生総合相談室のご案内
- 17 キャンパス・ハラスメント防止のために

特集

- 18 能登半島地震における支援活動について
- 19 能登半島地震のボランティアに参加して
- 20 テキサスメディカルセンターより
- 22 国家試験合格状況一覧
- 23 保健師・助産師・看護師国家試験受験状況一覧
- 24 先輩学生からの応援メッセージ
- 25 日本医学教育評価機構 (JACME) による医学教育分野別評価について
- 26 私達なりの地域医療を形にしていこう／茶会におけるおもてなし

定年退職教員紹介

- | | | |
|----|------------------------------|-------|
| 27 | 医学部の皆さん、ありがとうございました | 松岡 達 |
| 28 | 福井大学医学部の益々の発展を願っています | 石塚 全 |
| 29 | 「福井大学で学んだこと、そして新たな世代へのメッセージ」 | 岩崎 博道 |
| 30 | 定年退職を迎えるにあたって | 後藤 伸之 |

新任教員紹介

- 31 遠山 直志／宇随 弘泰／野阪 拓人／津吉 秀昭／青木 未来／原田 範雄／平井 孝治
中井 國博／榎本 将人／松木 悠佳／西山 康裕／池田 裕之

トピックス

- 35 令和6年度学長表彰、医学部優秀学生表彰 / 令和6年度 卒業生からの寄贈品 / 令和6年度卓越した学生に対する優秀学生奨励賞
- 36 医学部附属病院だより
- 37 「英国の医療と高度実践看護師研修」の再開について
- 38 アメリカ フィンドレー大学への留学 / ～福祉国家の実際～ デンマーク・オールボー大学病院での臨床実習について
- 39 令和7年度 医学部授業日程

課外活動

- 40 部活動・サークル紹介
- 49 第45回 福井大学医学部「暁祭」について

寄附のお願い

- 50 寄附のお願い

〈表紙の写真〉
越前松島水族館にて
(医学科2年廣野青夏さん撮影)

〈裏表紙の写真〉
医師国家試験受験者見送り
(学務課撮影)

入学を祝して

福井大学長 ない き ひろ のぶ 内木 宏延



新入生の皆さん、入学おめでとうございます。それぞれに大変であった受験勉強を乗り越え、志望校に無事合格を果たした喜びはさぞ大きいことと思います。ご家族や恩師を始め、皆さんを育み、支えて下さった全ての人々に対する感謝を忘れず、有意義な学生生活を送ることを心から希望します。

皆さんは今、大学生活や勉学に対する不安と共に、さまざまな希望や期待にあふれていることと思います。大学生活は一生のうちでもっとも輝かしく、濃密で意味深い時間だと思います。神谷美恵子氏の言葉を借りれば、誰でも感受性と感動性が急激にたかまり、世界は色どりと輝きにみち、時間は未来に向かって無限にひらかれているように感じられます。青年のころは誇大な自負心と極端な劣等感のあいだをゆれ動きながら、さまざまな活動を試みます。神谷氏はこれを“ころの飛躍”と呼んでいます。将来人の命に直接向き合うことになる医学部の学生である限り、しっかりと勉強しなければならないことは言うまでもありませんが、決して自らの可能性を限定してしまうようなことはせず、さまざまなことさらに果敢にチャレンジして下さい。多くの友人を作り、とことん語り合ってください。また、何でも良いですからサークルに入り、仲間たちとスポーツに励んだり、音楽活動を楽しんだりして下さい。大学時代に培った友情は、皆さんにとって一生の

宝になることでしょう。

このように皆さんの周りの社会や仲間に関心を持ち、働きかけると共に、どうぞ自分自身にも関心を持ち、内面世界に働きかけてみて下さい。皆さんがこの世の中に存在することに真の意味を与えることができるのは、実は皆さん自身なのです。辻 邦生氏の言葉を借りれば、私たちがこの世にあるということは、私たち一人ひとりに与えられた世界を、深く、意味深く生きることになります。さまざまな本や絵画、音楽を通して先人達の悩みや考えに触れ、それらが皆さんの心の中に引き起こす“反響”に耳を澄ましてみて下さい。そのような出会いの一つひとつが皆さんの心を豊かにし、医療者として病める人々に共感する力を培ってくれるものと思います。

もう一つ伝えたいことがあります。皆さんは英語が好きですか？受験勉強で苦しめられたつらい思い出しかないかもしれませんね。インターネットが普及し、経済、文化はもちろん、医学の世界も驚くべき速さでグローバル化しています。世界中で皆さんと同世代の若者たちが、それぞれ希望に満ちて医学の勉強をスタートしました。そんな友人たちと、自分たちの過去や今、将来のさまざまなことを自由に語り合えたら、さぞ楽しいだろうと思いませんか？英語が嫌いな人も好きな人も、どうぞ自分の英語を磨いて下さい。お金をかける必要は

ありません。例えば、自分の実力にあったNHKラジオ英会話テキストを購入し、毎日コツコツと、まるで歯磨きを欠かさないように続けてみて下さい。これから皆さんの生きていく世界は、皆さんの生まれ育った街や福井、日本だけではありません。英語が話せれば、皆さんの想像出来ない、楽しく心ときめく世界が皆さんの前に開けて来ると思います。頑張ってください。

私は学長として、皆さんと同じ一年生です。「山椒は小粒」をモットーに、小さくても元気のある、存在感のある大学を作っていきたいと思っています。無事6年間の任期を全うすることができれば、医学科新入生の皆さんと同時に卒業です。お互いに毎日を精一杯生き、充実した学生時代、学長時代にしようではありませんか。人間としてすっかり成長し、母校を巣立ってゆく皆さんに学位記を授与できる日を楽しみにします。

福井大学長 ない き ひろ のぶ 内木 宏延

1959年生まれ。京都大学医学部卒。病理医。1990年、福井医科大学医学部病理学第2講座助手。1998年、福井医科大学医学部病理学第2講座教授。2016年、福井大学医学部長。2021年、福井大学副学長。2025年4月より福井大学長。

歓迎のことば ～松岡キャンパスへようこそ

医学部長・医学科長 菊田健一郎
きく た けん いち ろう



新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます。

「ようこそ医の世界にお越しくださいました。」厳しい試験を突破し、医療者の門をくぐられました皆さんに、先人として歓迎の意を表します。

ここまで来られた道のりには、さまざまな紆余曲折、挑戦と失意の歴史があったかもしれません。しかも、これから勉強しなければならない量は、他の道に比べて勝るとも劣りません。厳しい医の世界を選んでくれた皆様に、心から感謝の意も表します。

いったんここに足を踏み入れられた皆さんは、我々の仲間です。これから4年間ないし6年間、一人前に育っていきますよう、教官一同、陰日向になり、叱咤激励し、サポートいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

まずは友人を作りましょう。厳しい世界を楽しく過ごすには、切磋琢磨し、励まし合う仲間が必要です。サークル、部活に入りましょう。全く新しいことにチャレンジするのもいいでしょう。新しいこと、新しい人と交わりましょう。世の中には色々な人がいて、色々な考えがあります。患者さんにもいろんな人がいます。体験により、自分と違うもの、自分と違う人を認め、多様性を尊重できる人間に成長しましょう。

旅に出ましょう。友人と旅に出るのもいいですし、外国に行くのもいいでしょう。忙しい人でも隙を見つけ、休暇を利用して自分の世界を外に押し広げましょう。英語なんてなんとかなります。お金がなくとも、安い移動手段を見つけ、安い宿を見つけ、トラブルを乗り越え、知らない土地に行きましょう。お金がない状態で行く旅行経験そのものが、あなたの血肉になり、かけがいのない財産となるでしょう。

英語を勉強しましょう。外国に一回行くと、モチベーションが上がります。英語を上達するコツは、ネイティブの話す例文を800文くらい、そっくりに言えるように丸暗記することです。リスニングはNetflix映画を字幕で見て学びましょう。きちんと発音ができれば聞き取れるようになります。米国医師免許を取得し外国で医師をされている先輩もおられます。夢を大きく持ち、興味があれば国際課に相談ください。

外国に行けば行くほど、「俺は、私は日本人だ」という意識が芽生え、日本のことが知りたくなります。夏目漱石、武者小路実篤、司馬遼太郎くらいは読みましょう。東野圭吾と少年ジャンプだけでは駄目です。音楽もベートーベンやモーツァルトくらいは聴き

ましょう。高校生にはない教養を身につけましょう。ちなみに私はカルロス・クライバー指揮のベートーベン第7番が一番好きです。

誰かの言葉ですが、若さとは「初めて」を経験する季節です。歳をとるとは「初めて」がなくなることです。皆さんはこれから、さまざまな「初めて」を経験します。精神が「ハッと」とし、心がときめきます。でも「少年老いや早く学なりがたし」、学生生活は短いのです。のんびりしてはいけません。皆さんが本学で、この素敵な瞬間を数多く経験し、実り多い学生生活を送られ、立派な医療者に成長されますことを祈念しております。

歓迎の言葉

読書、芸術、恋、旅、あなたが打ち込めるものが
あなたの人生を豊かにします。

医学部附属病院長 ふじ えだ しげ はる
藤枝 重治



新入生の皆さん、入学おめでとうございませう。いよいよ大学生活が始まります。皆さんの中学、高校生活に影響を及ぼしたコロナ感染症もインフルエンザ感染症と同じように感じられ、コロナ前の大学生活とほぼ変わらない生活を送れるようになりました。皆さん、大学生活を存分に楽しんでいただきたいと思います。人生の中で、学生時代の友人は、一生の友です。何の利害関係もなく、何時会っても学生時代に戻れます。とりわけ時間を自由に使える大学での友人は、皆さんの人生の宝です。人生、恋愛、仕事、勉強、すべてにおいて毎日語り合ってくださいと思います。

さて医師・看護師・保健師などの医療人に就く皆さんに必要なのは、幅広い豊かな人間的素養です。患者さんの生活環境、人生経験、物事の考え方をほとんど知らない段階で、診断した病気について説明し治療を相談しなければなりません。すなわち「こちらがこの様に言ったら、相手はどの様に感じるのか」と推測できないといけません。「無礼な医師だ」「人を想いやれない医療者だ」とか聞かれたことはないですか？またそう感じた経験はありませんか？皆さんは決してそのようなことは言われたくないと思います。そうならないためには、本を読んで欲しいと思います。世の中には様々な価値観、思考過程が存在します。読書

によってそれらを知識として知ることができるのです。恋愛小説、推理小説、医学小説、時には哲学、芸術解説書、どのような本でも構いません。読書によって、人は謙虚に作者の価値観や知識を知り、「教養」、「想像性」、「洞察力」が身に付けられます。それでいて知的好奇心を高め、高度の専門能力を有することができる基礎を作ります。多くの価値観を知っている医療者が、複数の方法で治療を説明でき、ベストの結果に結び付けられるのです。最初の数冊の成功体験が読書の継続を生みます。気力旺盛で高い志を持つ今こそ、まず1冊読みましょう。

次に様々な芸術に触れてください。医療者になると音楽、絵画、書道、茶道、華道、そのほか様々なものに、大きな力があり、患者さんの生きる力になることを知ります。もちろん自分も癒されます。岡倉天心の「茶の本」では、「花はわれらの不断の友である。花がなくてどうして生きて行かれよう」とも書かれています。学生時代に、もし素敵とを感じる芸術・美術を発見したならば、それほど素晴らしいことはありません。一生あなたに潤いを与えてくるとともに、患者さんを勇気づけることが可能となります。

そして人のことを思いやる最も理想的なことは、恋愛です。ぜひ恋をしてください。ぜひとも愛を感じてくださ

い。愛は人をこの上なく優しくします。また自分の好きなこと、打ち込めることを見つけてください。もちろん部活は楽しいですよ。学外の人とのかかわり合いもとても素敵です。

非日常としては、旅は格別です。大学在学中に、時間と少しのお金があれば、どんどん旅に出てください。特に海外に行って欲しいと思います。世界には我々日本人とは異なった考え方、感じ方があります。でも人間であることは違いがありません。通じ合えれば、同じ人間だとわかってきます。そのためにも英会話を勉強してください。勉強といっても、大事なのは実践です。英語を話す勇気です。ぜひともこの勇気を獲得してほしいと思います。

医学を学ぶ最初の関門は、解剖学です。本気で勉強する必要があります。本気で勉強することで、学力に加え、論理的な思考、問題を見つける力、完遂する力を養えます。この解剖学が1年生から始まります。最初が肝心です。ここをスムーズに乗り越えれば、その後も大丈夫だと思います。福井大学医学部では「真理を探究する知への愛」として自分自身の無知を自覚して、真理（知識）を獲得する努力を惜しまず、「人命を尊重し人間に共感する人」になる医師を育てようとしています。皆さん、期待しています。一緒に頑張りましょう。

福井大学で育むしなやかな知力

看護学科長 四谷 淳子



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

2025年を迎え、私たちは大きく変わりつつある社会の中にいます。気候変動による異常気象や災害が増え、世界中で多くの人々がその影響を受けています。また、AIやデジタル技術の急速な進化により、医療や福祉の分野も大きく変わろうとしています。このような時代において、看護職には“レジリエンス”という力、すなわち困難な状況にも柔軟に適応し、前向きに乗り越えていく力が、ますます求められています。皆さんはこれから看護学を学びながら、このレジリエンスを身につけることで、自分自身や患者さん、そして社会を支える力を養っていくことになります。その第一歩として、私は皆さん大学生活を始めるにあたり、大切にしてほしい5つのことをお伝えします。

1つ目は、夢を持ち続けること。皆さんは看護師、保健師、助産師を目指し、本学に入学されたと思います。これからは、大切なのは「どんな看護職になりたいか」という具体的なイメージを持つことです。患者さんに寄り添う看護師、AIやビッグデータを活用する保健師、少子化対策の一翼を担う助産師——どれも未来の医療に不可

欠な存在です。今の自分を未来の視点から見つめ、夢に向かって何ができるかを考えてみてください。

2つ目は、頑張りすぎないこと。誤解を恐れずに言えば、勉強、勉強と大学での教育課程に埋もれてしまうのではなく、自分の心の成長にタッチと時間を使って下さい。勉強に励むことは大切ですが、学びとは「知識を詰め込むこと」ではなく、「問いを持ち続ける力」を養うことです。看護の知識や技術は日々更新され、実践は作業の積み重ねとなります。しかし、皆さんが大学で身につけるべきなのは、「これから何を学ぶべきかを問い続ける力」です。そのためには、自分の心の成長にも時間を使うことを大切にしてください。柔軟な発想を持ち、多様な生き方を模索すること——これこそが、大学での学びの本質です。

3つ目は、思ったことを口にする。情報を受け取るだけでなく、自分から発信する力を養ってください。意見を伝えることは、自分の考えを深めるプロセスでもあります。現在の科学は多分野の融合によって発展しています。看護学も例外ではなく、多くの視点を取り入れることが重要です。そのためには、まず自分の考えを発信し、対話を通じて視野を広げることを意

識しましょう。

4つ目は、友人を大切にすること。学生時代は生涯の友を得る絶好の機会です。学部・学科を超えて、多様な価値観を持つ人々と交流し、人とのつながりを大切にしてください。困難に直面したときこそ、仲間の存在が大きな支えになります。互いに励まし合い、学び合うことができる仲間こそ、皆さんの貴重な財産となるでしょう。

5つ目は、まず自分が幸せであること。幸福感は、人を支え、導く力になります。目標に向かい努力する中で、自分らしさを大切に、日々の小さな幸せを忘れないでください。また、周囲の人々への感謝の気持ちを持つことも、よりよい人間関係を築くために重要です。

これらの5つのポイントは、オーストラリアの緩和ケアの現場で働いた看護師がまとめた「人生の最後に多くの人が後悔すること」に基づいています（ブローニー・ウェア著『死ぬ瞬間の5つの後悔』, 2012）。皆さん自身のため、そして将来、皆さんがケアする患者さんのために、後悔のない大学生活を送りましょう。レジリエンスを育み、健康と幸福を支える専門職としての道を、仲間とともに楽しみながら歩んでいきましょう。

学生支援体制について >>> 学修と生活の両方をサポートします

《医学科学生支援システム》

① 学年主任と助言教員制度

学年毎に、その学年での教育科目を受け持つ教員の中から学年主任と助言教員を割り振り、皆さんの「相談窓口」となり、主に修学面についてサポートします。遠慮無く声をかけて下さい。

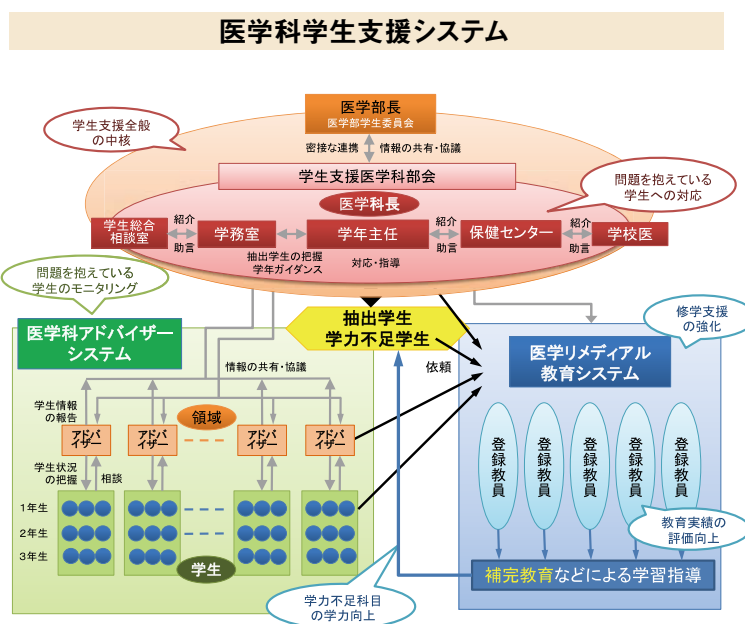
② アドバイザー制度

(1～4年次生)

医学科の主任教員（主に教授）が、学生数人で構成された小グループのアドバイザー教員となり、1年次生から4年次生までを一貫してサポートする仕組みです。アドバイザー教員は各学年の学年主任と助言教員と連携しながら、修学面のみならず、生活面についても対応します。

(5・6年次生)

特に修学面で不安を抱えた学生さんを、医師国家試験合格に向けて手厚く支援する仕組みです。別名「国試サポート」とも呼ばれています。



〈医学科〉

学年	学 年 主 任	助 言 教 員
1 年	ふじ た りょうすけ 藤田 亮介 (医療統計学)	いわもと まさゆき 岩本 真幸 (分子神経科学)
2 年	さだ きよなお 定 清直 (ゲノム科学・微生物学)	ふかざわ ゆうご 深澤 有吾 (脳形態機能学)
3 年	あお き こうじ 青木 耕史 (薬理学)	こばやし もとひろ 小林 基弘 (病理学)
4 年	てら だ なおき 寺田 直樹 (泌尿器科学)	とおやま ただし 遠山 直志 (腎臓病態内科学・検査医学)
5 年	はら だ のりお 原田 範雄 (内分泌・代謝内科学)	なかもと やすなり 中本 安成 (消化器内科学)
6 年	まつみね あきひこ 松峯 昭彦 (整形外科学)	ご い たかのり 五井 孝憲 (外科学1)

医学部生活スタートにあたって

医学部生活スタートにあたって
医学科1年 学年主任 藤田 亮介

ご入学、誠にありがとうございます。皆さんが未来の医療を担う一員として歩み始めることを、心より歓迎いたします。これからの大学生活は、医学の知識を深めるとともに、人間性を磨き、医療者としての責任感や倫理観を育む大切な時期です。勉強面では、医学の知識は膨大で、継続的な努力が求められます。講義や実習の内容を日々復習し、疑問点をそのままにせず、解決する習慣を身に付けてください。学びは一人ではなく仲間と協力して進めることが非常に効果的です。ディスカッションやグループ学習を通じて互いに刺激を与え合い、成長していきましょう。生活面では、規則正しい生活習慣を心がけることが重要です。医療者として多忙な日々を備えるためにも、体調管理は欠かせません。また、個人面談や講義、グループ活動では時間厳守を徹底してください。時間を守る姿勢は、将来の医療現場で患者さんやチームから信頼を得るための基礎となります。

皆さんのこれからの努力が大きな成果をもたらす、充実した学生生活を送れることを心より願っています、頑張ってください。

《看護学科学生支援活動》

看護学科では、各学年につき2名の学生主任の教員が、入学から卒業するまでの4年間にわたり、学業面、生活面、専門職者としてのキャリア形成等、さまざまなことについてみなさんの相談役となりサポートいたします。

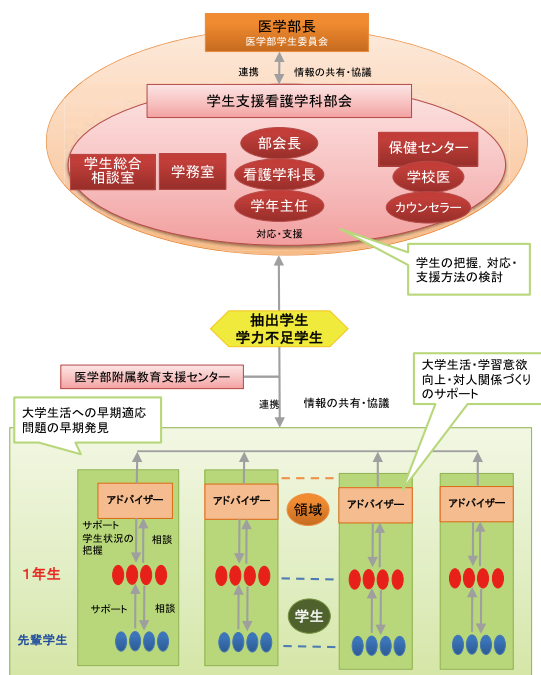
また、新入生のみなさんが1日も早く大学生活に慣れ、有意義な大学生活を送ることができるよう、アドバイザー教員と先輩学生がみなさんと共に小グループを編成し、みなさんをサポートします。小グループでは、大学生活・環境等への適応のお手伝いや、大学での学習意欲が湧くような活動に加え、対人関係づくりを促すような活動を行いますが、他にも行いたいことなどグループの活動内容はグループ全体で決めていきます。みなさんが困ったときは、学年主任、アドバイザー教員、先輩学生、保健センター、学務課などみんなで解決できるような体制ができています。

この活動については、本学看護学科ホームページでも詳しく紹介されています。
<https://nursing.med.u-fukui.ac.jp>

〈看護学科〉

学年	学 年 主 任	
1年	う づい ひろやす 宇随 弘泰 (臨床看護学)	しま まさよ 嶋 雅代 (育成期看護学)
2年	いそみ ちえ 磯見 智恵 (臨床看護学)	うめだ なおこ 梅田 尚子 (育成期看護学)
3年	は せ がわ み か 長谷川美香 (コミュニティ看護学)	と なみ り か 礪波 利圭 (基盤看護学)
4年	さ とう だいすけ 佐藤 大介 (臨床看護学)	きた の か な え 北野華奈恵 (基盤看護学)

看護学科学生支援システム



「新たな一歩を踏み出す皆さんへ」

看護学科1年 学年主任 宇随 弘泰

この度は、ご入学おめでとうございます。新しい環境に期待を膨らませる一方で、不安も感じているかもしれませんね。そんな皆さんと出会い、共に歩めることを、とても嬉しく思います。

学生生活は、あっという間に過ぎていきますが、自分の将来を形作る大切な時間でもあります。勉強や実習を通して、看護の知識や技術を学ぶだけでなく、仲間と支え合いながら成長していくことも、この期間の大きな意義です。もちろん、楽しいことばかりではありません。学業の難しさや、思い通りにいかないこともあるでしょう。そんな時こそ、一人で抱え込まず、周囲に頼ってください。私をはじめ、教員やスタッフ一同、皆さんが充実した学生生活を送れるよう、全力でサポートします。学びのこと、将来のこと、生活のこと、どんな小さな悩みでも気軽に相談してください。

これから歩む道は、決して一人ではありません。仲間とともに学び、支え合いながら、一歩ずつ進んでいきましょう。皆さんの成長を心から楽しみにしています。これからの学生生活が、実り多いものになりますように。共に頑張っていきましょう！

そのほか、医学部では、「学生総合相談室」(松岡キャンパス管理棟1階)を設けています。何か困ったことがあったら、一人で悩まず気軽に訪ねてください。(詳しくは、P16をご覧ください)

医学図書館へようこそ♪



医学図書館は、講義棟正面入口向かいの建物です。
皆さんの医学図書館は建物だけではなくインターネット上に広がる「図書館という学習環境」です。
使い方一つで世界中の情報を手にすることができます。時間は卒業までの数年間。
是非使いこんでください。

主な特徴

- 24時間開館
- Wi-Fi 利用可（総合情報基盤センターでの申請要）
- 入館ゲートは学生証でタッチ即入館
- グループ学習に使える情報工房・グループラボ
- 患者さんや一般の方も利用可能
- 自動貸出返却装置で24時間貸出返却可能

医学図書館は、利用者の皆さんの学習・教育・研究をバックアップするため、様々なサービスを提供しています。
ご質問等ありましたら、下記へメール、もしくは平日の17時までに電話または直接カウンターへいらしてください。

mllib-sv@ml.u-fukui.ac.jp 0776-61-8258 内線2177

使えるぞ！図書館ホームページ

福井大学図書館 検索

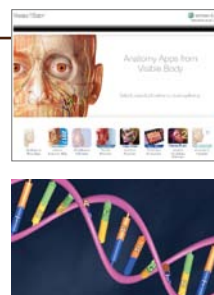
図書館のホームページは、本のありかを調べるだけでなく、インターネット上で利用できる様々なサービスの窓口です。

便利な『マイライブラリ』は本の予約や他の図書館からの本の取り寄せ、購入希望リクエストなどをどこからでも申し込むことができます。



電子ブック

インターネット上で読める教科書・参考書。
誰かが借りてるから使えない！ってお悩みがないんです。ダウンロードもできるのでゆっくり勉強できます。動画もあるので細胞の動きなど理解が深まります。
英語多読にはMaruzen ebook libraryのMacmillanシリーズがあります。



電子ジャーナル

インターネット上で読める雑誌。
世界の研究にいち早く触れることができます。
まずはNew England Journal of Medicineのようなレビュー誌を読んで英語で医学の世界へ踏み出しましょう。



データベース

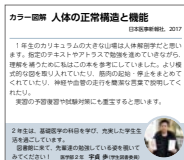
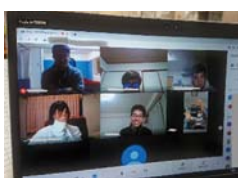
情報を探するためのツール。
日本語の学術情報 医中誌WebやJDreamIII
外国語の学術情報 PubMedやScopus



今話題のキーワードで検索してみましょう。

図書委員Webミーティング

図書館の運営に参加できる学生図書委員。
お薦め本紹介やブックハンティング（選書）などあなたの参加をお待ちしています。



GakuNin (学認)

デジタルコンテンツ（インターネット上で使える資料）を自宅や外出先から使う魔法の呪文（ちゃんとしたサービスです）。自宅や外出先から各サービスにアクセスする際には、皆さんの統一認証IDでログインしましょう。



医学図書館 MAP

開館時間	授業期間
月～金	9:00～20:00*
土・日・休日	休館*

*特別利用申請により、24時間利用可能です。

貸出冊数	貸出期間
10 冊	1 週間

ラウンジ

勉強に疲れたらラウンジでほっと一息。おしゃべりもできる。新着図書やミニ展示、研究室リレーなど気になるコーナーを見つけよう。季節のイベントも開催しているので参加してね。

カウンター

本の探し方や図書館の利用方法など気軽にお尋ねください。

正面玄関

平成22年に改装した玄関はブルーの壁面に白い階段が交差するヨーロッパな装い。ようこそ医学図書館へ。

1F

正面玄関 → ラウンジ 展示コーナー → コピー室 → カウンター → 事務室 → 集密書架 → 新着雑誌コーナー → 英語論文作成支援コーナー → メディアルーム → 雑誌閲覧室 → メディアルーム → ビロティー

集密書架

前年までの学術雑誌が並ぶ。ハンドルを回すと書架が移動して中の資料を取り出せる。日本語の雑誌は1987年～外国語の雑誌は1990年～

コピー室

コピー料金
モノクロ 10円/枚
カラー 50円/枚

新着雑誌コーナー

今年分の雑誌が並ぶ。必要な資料があればカウンター前のコインコピー機を利用しよう。雑誌は借りることもできる。

英語論文作成支援コーナー

予約制なのでカウンターに問い合わせよう。

メディアルーム

パソコンを自由に使える。DVD視聴やTV授業の受講にはヘッドフォンを使用して利用しよう。

館内どこでも無線LAN使用可能です。
(手続きは総合情報基盤センターへ)

館内に設置してあるPCでインターネットに接続する場合もご自身の学内無線LAN接続にてご利用ください。

新着情報をゲットしてね！

@u_fukui_medlib

皆さんの学習環境を守るためのお約束

館内では、本を汚したり、臭いが他の利用者の迷惑になったりすることを防ぐため、蓋付きの容器に入っている飲料のみ持ち込み可能としており、『飲んだらしまう』を合言葉に水分補給を行っています。

飲食する場合は、講義棟1階コミュニケーションスペースをご利用下さい。

心とからだの本コーナー

医学図書館を利用する患者さんや一般の方向けに心やからだに関する本がある。もちろん皆さんも利用OK。

診療ガイドライン・癌取り扱い規約コーナー

視聴覚資料コーナー

医学に関するDVDやビデオがある。

情報工房・グループラボ

2F

集密書架 → 図書閲覧室1 → 図書閲覧室2 → 図書閲覧室3 → 新書・文庫コーナー → 国試対策コーナー → USMLEコーナー → 心とからだの本コーナー → 診療ガイドライン・癌取り扱い規約コーナー → 視聴覚資料コーナー → 情報工房・グループラボ

図書閲覧室1

アメリカ医学図書館分類に従って、医学の専門図書が並ぶ。閲覧席は大きな医学書を数冊並べても平気な広いスペースを持ち、いつでも自由に閲覧・勉強できる。

USMLEコーナー

アメリカの医師国家試験用問題集がある。将来海外で働くことも目標の一つに入れては？学生同士の勉強グループもあるのだから参加してみよう。

国試対策コーナー

医師、看護師、保健師、助産師の国試対策問題集の過去5年分がある。6年後・4年後を目指して今から覗いてみよう。

新書・文庫コーナー

岩波文庫・岩波新書・講談社ブルーバックス

図書閲覧室2

心理学、社会学、数学、小説など一般教養図書が並ぶ。

グローバル人材育成研究センターのご案内 >>>

平成23年4月の設置以来、実践的な語学教育に注力してきた語学センターは、令和6年4月よりグローバル・エンゲージメント推進本部の附属施設「グローバル人材育成研究センター」に生まれ変わりました。

グローバル人材育成研究センターでは、実践的語学力に加え、世界に通用する専門能力とグローバル・スキル、国際的に活躍するために必要なリーダーシップを備えた人材の輩出を目指しています。この目標達成のため、言語開発センター通称「LDC (Language Development Center)」を運営しており、松岡キャンパスの医学図書館1階に整備されています。

実践的語学力を身に着けるには授業に加え、コミュニケーション実践も含めた継続的な外国語の自己学習が必要と考えられています。LDCの整備によりすべての学生に対して十分な語学学習教

材及び環境を提供できるようになっています。

LDCは自律的語学学習の場として、グローバル演習室やメディカルイングリッシュ演習室の他、SAC (Self-Access Center) には個人学習演習室を有しており、4技能・語彙・発音・コミュニケーション力と幅広いスキル向上に対応した設備や教材を備えています。周囲を気にせず発音練習をしたり、複数人でコミュニケーションを実践したり、個人学習からグループ学習まで様々な学習形態を実現できます。

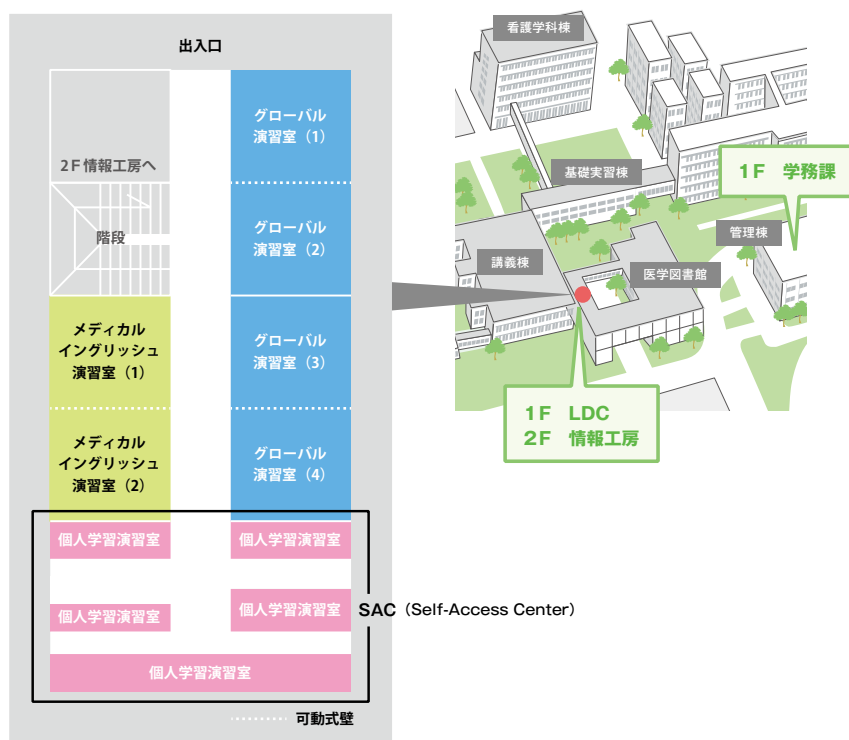


また、SACでは外国語書籍や外国医療ドラマ等のDVDを配架しています。レベル別・分野別の外国語書籍をそろえているので語学力と興味に応じたリーディングが可能です。DVD視聴を通じてリスニング能力のみならず会話で使用するイディオムや語彙力の向上が期待できます。

さらに、グローバル人材育成研究センターでは、地域人材のグローバル化対応の支援を目指しています。本学学生および地域人材からグローバル人材を育成・輩出することで、地域全体のグローバル化を推進していきます。



LDC配置図



DVDステーション

SACでは、語学学習に役立つ多数のDVDやブルーレイディスクを視聴できます。海外医療ドラマや実際の医療現場で使える英会話講座のDVDなどが揃っています。

英語教材

SACでは、graded readers (レベル別多読用教材) やTOEIC・TOEFL対策の教材が揃っており、自由に閲覧できます。

この他、医学図書館2階にも外国語書籍があり、特に医療系の書籍が充実しています。ビギナー向けの英会話本から世界で活躍したい方向けのUSMLE (米国医師国家試験) 対策本まで幅広いレベル別・目的別の本を取り揃えています。

LDC設備紹介

○ メディカルイングリッシュ演習室 (全2室)

医療現場に必要な臨床英語やコミュニケーション能力を高めるため、「臨床英語に接する機会の充実」を目的に、診察用ベッドや診察机などを設置し病院診療室を再現した部屋となっています。社会に出て実際に遭遇する医学英語の環境をシミュレーションできます。



○ グローバル演習室 (全4室)

英会話のグループレッスンやディスカッション、プレゼンテーションの練習が可能です。実際のコミュニケーションに近い状況で外国語の実践力を高めることができます。

また、演習室1と2、3と4の中間仕切りを移動することで、2部屋分の広さで使用することもできます。メディカルイングリッシュ演習室の演習状況を大型スクリーンで映し出し、同時に多くの人数で実践的医療現場の学習をすることも可能です。



SACの紹介

Self-Access Center (SAC) は、学生が英語を自主的に学習するために整備されています。

400本以上のDVDをそろえ、個人学習演習室では、遮音設備の整った25のブースでDVDを見ることや、集中して自習することもできます。

DVDは、話題になっている海外の映画・ドラマに限らず、ドキュメンタリーや、ディズニー&ジブリのアニメもたくさんあります。ジブリアニメを英語で見てみませんか？見たことがない海外ドラマにはまってみませんか？映画を見ながら単語・文法をチェックすることで、英語の学習になります。映画を楽しみながら、英語の単語が増えていきます。ぜひ試してみてください。

さらに、医学英語や、USMLE、TOEIC、TOEFL等の語学試験対策を含めて150

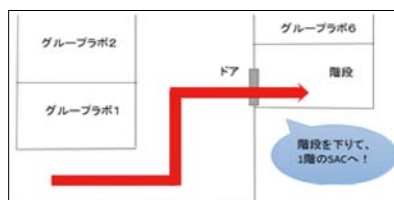
冊以上の教材を用意しています。自分の好きなように英語のリーディング・リスニング等が練習できます。

SACの教材・DVD等をぜひ試し、自分に合っている勉強方法とペースを見つけてください。

開館の時間は平日17:00～19:50です。(詳しくは図書館・学内で貼っているスケジュールをチェックしてください)

SACに詳しい学生スタッフ (Student Coordinator) が待っています！

「Join us! 気軽にお立ち寄りください!」



○ 個人学習演習室 (全25室)

各部屋にパソコンを備えた遮音室となっており、マイク付ヘッドホンによりスピーキングを録音して、発音やイントネーションを確認することができます。外国語の総合力の向上、検定試験対策、スピーキング能力やリスニング能力の向上に役立ちます。



松岡キャンパス 保健センターのご案内 >>>

体調不良、お困りごとなどは、我慢せず、遠慮せず、保健センターにご相談ください。

(管理棟1階学務課前)

対応可能時間(症状確認、紹介状発行) 平日8:30～17:00

TEL 0776-61-8575 Mail: m-hoken@ml.u-fukui.ac.jp



《体調不良のとき》

附属病院を受診したい

- ・診察受付は月～金の8:30～11:00です。(平日午後、土日、祝日は診察時間外です)
- ・予約制となっており、また診療科によって診察する医師が決まっていますので、基本的に当日は受診できません。
- ・注意…初めて附属病院を受診するとき、または前回の診察から6か月以上受診がない場合は、紹介状が必要です。紹介状を持参しない場合は、初診料のほかに選定療養費(¥7,700)がかかります。

本日 医療機関を受診したい

- ・体調不良時は、無理に登校せず、自宅から保健センターに電話してください。永平寺在宅訪問診療所または近隣の医療機関を紹介します。
 - ・産婦人科、皮膚科、耳鼻科、整形外科、眼科等の専門外来の予約は、保健センターで調整しますのでご相談ください。
 - ・自家用車がなく近隣の医療機関を受診できない場合は、附属病院を紹介しますが、当日は受診できないこともあります。ご了承ください。
- ※切り傷、すり傷などの消毒や湿布など、受診が不要な場合は、保健センターで処置します。

《急なケガで救急部を受診したいとき》

- ・時間外(平日午後、休日、夜間)にも診察をしてくれますが、体育中や部活動中にケガをしたときなど、あくまで急病の時のみ紹介します。救急部の医師が総合的に診てくれますが、基本的に内服処方1日分です。専門的な治療が必要な時は、当日もしくは翌日に他科やクリニックを紹介してくれます。
- ・注意…診察代金のほかに時間外料金、22時～翌6時までは深夜料金が加算されます。
- ・部活や体育授業中の事故の場合は、加入している保険の手続きが必要な場合があります。保健センターにお知らせください。

《実験、実習中のケガのとき》

- ・実験中のけが、実習中に針刺しをした場合は、担当教員に連絡したのち、すみやかに保健センターにご報告ください。追加で検査や病院を受診することがあります。

《学校医に相談したい、カウンセリングを受けたいとき》

- ・眠れない、集中力がない、やる気がない、食欲が落ちた、生理不順、体がだるい、おなかが痛い…病院受診までは必要ないけど医師に相談したい、カウンセラーに話を聞いてもらいたい…等は保健センターにご相談下さい。学校医またはカウンセラーと調整し、相談へつなぎます。
- ・学校医は、内科一般、整形外科、歯科、産婦人科、精神科の医師です。カウンセラーは2名（男性、女性）です。
- ・注意…相談なので費用はかかりませんが、レントゲン撮影、血液検査、内服薬の処方はありません。相談の結果、検査や投薬治療が必要な場合は医療機関を紹介されることがあります。

健康相談

内科医師：高橋 和人 たかはし かず と	整形外科医師：渡邊 修司 わたなべ しゅう じ	婦人科医師：玉村 千代 たまむら ち よ
精神科医師：上野 幹二 うえの かん じ	看護師：中嶋 美佳 なかじま み か	相談日／月～金 9時～17時

カウンセリング

臨床心理士：栗田 智未 くりた とも み	相談日／月～金 9時～17時30分
--	-------------------

※医師に相談を希望される方は、予め保健センター内事務室（電話0776-61-8575）まで申し出てください

※カウンセリングは、なるべく電話予約（電話0776-61-8567）をしてください

※相談内容については、秘密を厳守いたします

《大学に提出する診断書が欲しいとき》

- ・試験を欠席する場合や、長期に授業を欠席する場合は、診断書を提出する必要があります。かかりつけ医がない場合は、保健センターから永平寺診療所や近隣の医療機関を紹介し、診断書を依頼します。ただし、証明できるのは受診した日からです。先週おなかが痛かった、発熱していたなど、日を溯って記入することはできません。
- ・注意…診察代のほかに、文書証明料発行のための料金がかかります。

《健康診断証明書が欲しいとき》

- ・病院見学や就職試験のため、医療機関から健康診断証明書の提出を求められる場合があります。
- ・定期健康診断書（身長・体重、血圧、胸部レントゲン）は学務課前の自動発行機で出力・受け取りができます。（受診していない場合は発行できません）
- ・特別健康診断証明書（麻疹風疹、HBワクチン抗体価、ワクチン接種歴）が必要な場合は保健センターに直接お越しください。発行までに3～5日かかる場合がありますので、余裕をもってお申込みください。



令和7年度 学生定期健康診断等日程表 >>>

from 保健センター

日 程	検査項目等	対 象 者
4月9日(水) 4月14日(月) (※詳しい時間は決まり次第 お知らせします)	全学生定期健康診断 ●身長・体重測定 ●血圧測定 ●胸部X線撮影 ●尿検査 ●視力測定	全学生 医：6年生、看：4年生
5月～12月 (※詳しい日時は決まり次第 お知らせします)	B型肝炎血液検査及び HBワクチン接種 ① ワクチン接種前血液検査 ② 1回目HBワクチン接種 ③ 2回目HBワクチン接種 ④ 3回目HBワクチン接種 ⑤ ワクチン修了後、血液検査	医：3年生 看：2年生
4月～6月	B・C型肝炎、血液検査(一般)	医：1年、学士編入生 看：1年生
5月	メンタルヘルス検査	医・看：1年生
11月 (※詳しい日時は決まり次第 お知らせします)	インフルエンザワクチン接種	医：4、5、6年生 看：2、3年助産学専攻生 院：希望者

※「医」は医学科、「看」は看護学科、「院」は大学院を示す。

注 意

各健診の受検については、学生メールや掲示板等でお知らせします。

掲示する日程表の全課程は、日時を守る必要があり、途中で受け忘れると無効となりますので注意してください。

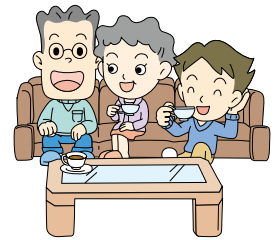
※日程変更は出来ませんので、日時を厳守のうえ受けてください。

こころの健康について、考えてみませんか >>> from 保健センター

保健管理センター(松岡地区保健センター) 臨床心理士・公認心理師・大学カウンセラー **栗田 智未**
kurita@u-fukui.ac.jp (TEL:0776-61-8567)

〔大学生の課題〕

著名な発達心理学者E. H. Ericsonによれば、青年期の心理発達課題は、「自分というアイデンティティの基盤をしっかりと固めようとする」ということ。大人へと変化を遂げていく準備をするとても重要な時期です。自分とはいったい何者かという問いを通して自分自身を形成していくのですが、困難な課題に立ち向かうこの時期は一時的に精神的に不安定になることも多く、多岐にわたる悩みを抱えることになります。



〔こころの乱れは生活の乱れ〕

大学生活には様々な新しい体験があります。例えば、一人暮らし。大学生活は、起きる・食べる・身の回りのことを自分でしなければなりません。そして、授業、部活、バイト、友達関係…、めまぐるしい日常の連続です。睡眠不足や偏った食習慣、多忙な生活が続けば、『やる気が出ない、イライラする、周囲の目が気になる』などの不適応状態に陥ります。心の健康は、日常的な普通の生活習慣を維持することから始まります。



〔医学部生はタフ!?!〕

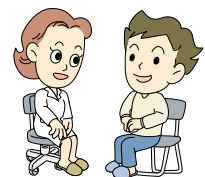
ある調査研究で「医療者は精神的に健康だと自認する人が多い」という報告があります。「自分はタフだ」という思い込みや「弱音を吐いてはいけない」という価値観は向上心に繋がります。しかし、自分をタフだと思っている人ほど周囲に弱みを見せるのを嫌い、自分だけで対処しようと頑張っかえって大きく破綻してしまう場合があります。自分一人で解決できるものもあれば、誰か他の人と相談しないと難しいこともあります。必要な時に他の人を信頼し相談する強さ、頼れるような柔軟さも獲得していきましょう。



〔保健センター カウンセリング室へ〕

学生生活において直面する様々な悩みや問題について、専門的な立場から秘密厳守で相談にのります。人間関係や自分の性格といった悩み、学業や進路に関する悩み、不眠や食欲不振などの身体的な悩みなど、困ったことがあったら相談に来てください。皆さんが想像している以上に、多くの学生が気軽にカウンセリング室へ来ています。

カウンセリングでは、相談者の困っていることや希望を聞き、問題を整理することによって、相談者が自分なりの解決法を得やすいように支援します。その他にも、相談者の希望に応じて、専門的な情報を伝える、関係者の間に入って環境を調整する、適切な人物や機関を紹介するなどします。友達や家族が困っているという場合も利用できます。まずは気軽にドアをノックしてくださいね。



学生総合相談室のご案内 >>>

学生総合相談室は、学生の皆さんの毎日の生活が充実したものになるように、相談（カウンセリング）などの支援を提供しています。

また、「障がいのある学生及び教職員のための相談室」も併設しております。身体的な病気になった時、日常生活や大学生活に支障を感じるような時も、お気軽にご相談ください。

具体的な相談内容やカウンセラーの紹介はホームページをご覧ください。



相談のヒントや相談室の最新情報などを配信しています。ぜひ一度ご覧ください。

←相談室 HP

<http://soudan.ad.u-fukui.ac.jp/>



相談室はここです！



オンライン予約ページ

管理棟の正面玄関を入ってすぐ左手、学務課と保健管理センターのあいだにあります。

開室時間／月～金 9:00～17:30
E-mail／mg-soudan@ad.u-fukui.ac.jp
電話／0776-61-8802

相談の内容については、
秘密を守ります。

キャンパス・ハラスメント防止のために >>>

— しない・させない・見逃さない

ハラスメントのないキャンパスに —

ハラスメントを受けた と感じたら…

悩みをかかえこまずに相談員に声を届けてください。
相談したことで、あなたが不利益を被ることは決してありません。

ハラスメントを目撃したら…

当事者間の個人的な問題として見過ごさず、助けてあげましょう！目撃したあなたが相談に来ることもできます。

ハラスメントと認定されたら…

福井大学はハラスメントを許しません
ハラスメントの内容によっては、加害者は懲戒の対象となります。

社会に存在する様々なハラスメントのうち 大学において発生する可能性のあるハラスメント

○アルコール・ハラスメント

飲酒に絡む嫌がらせや迷惑行為全般を指します。

○セクシュアル・ハラスメント

身体的な接触、性的暴力あるいは性的ジョークなどで、相手に不快感を与える性的な言動を指します。同性間でも発生することがあります。

○パワー・ハラスメント

教職員が職務上の権限を用いて、不適切で不当な言動を行い、他の教職員に対して行う職場における嫌がらせ行為などを指します。学生同士の場合、先輩・後輩の間で発生することがあります。

○アカデミック・ハラスメント

指導教員等がその権力を用いて、不適切で不当な言動を行い、学生や教員に対して行う教育・研究上のいやがらせ行為などを指します。

いつでも相談してください

福井大学

保健センター・学生総合相談室

栗田 智末 前川 伸晃

〒910-1193

福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

電 話／0776-61-8567（栗田）

0776-61-8802（前川）

E-mail／mg-soudan@ad.u-fukui.ac.jp

電話・Eメール・手紙・直接訪問するなど、あなたの一番いいかたちで相談してください。あなたの相談があなたの許可無く記録・報告されることは決してありません。**秘密は厳守します。**

福井大学医学部

～愛と医術で人と社会を健やかに～

【作成】福井大学学務部松岡キャンパス学務課

特集 1

令和6年1月1日16時10分、石川県能登地方においてマグニチュード7.6の地震が発生しました。本学教員・学生の支援やボランティア活動の一部をご紹介します。

能登半島地震における支援活動について

臨床看護学 教授 さとう だいすけ 佐藤 大介



能登半島地震における福井大学災害支援チームの活動

令和6年1月に発生した「能登半島地震」は、マグニチュード7.6、震源の深さ約10kmという大規模な地震である。この地震は石川県能登地方を中心に甚大な被害をもたらし、避難者は4万人を超え、死者は489人（2024.12.24現在）に達した。被災地では多くの家屋が倒壊し、道路やライフラインも寸断された。震災発生から数か月が経過しても、多くの人々が仮設住宅での生活を余儀なくされている。仮設住宅での生活が長期化する中、生活不活発病や慢性疾患の悪化、さらに孤独死のリスクが深刻な課題として浮上している。

こうした状況を受け、福井大学医学部では「能登半島地震災害支援チーム」を結成した。本チームは、医学科および看護学科の教員、学生、大学院生だけでなく、他大学の看護系教員や学生も参加しており、総勢20名以上のメンバーで構成されている。支援活動の主な拠点として選定したのは、外部からの支援が徐々に減少していた能登町である。活動期間は令和6年4月から9月にわたり、避難所や仮設住宅において多岐にわたる支援活動を展開した。本レポートではその具体的な活動内容と成果、今後の課題について報告する。

支援活動の概要

仮設住宅に入居した被災者に対しては、個別訪問を実施した。訪問時には健康状態のチェックや生活環境の把握を行い、必要に応じて健康相談を提供した。聞き取り調査では、「被害認定の基準が不明確で不公平感がある」「将来への不安が大い」といった声が多く聞かれた。また、移動が困難な高齢者世帯が多く存在し、酷暑による熱中症のリスクが指摘された。特に、エアコンが設置されていない仮設住宅では、熱中症対策が急務であると痛感した。

また、集会所や公民館を利用した健康教室も複数回開催した。内容は、医師による健康講話、深部静脈血栓症（DVT）の検診、簡単な運動指導、ハンドマッサージ、健康相談など多岐にわたる。健康教室には延べ75名が参加し、そのうち5名にDVT所見が確認された。これにより、弾性ストッキングを配布し、適切な医療機関での受診を促した。健康教室は、単なる健康管理の場としてだけでなく、被災者同士が顔を合わせ、交流を深める機会としても機能していた。レクリエーション活動も支援の重要な一環であった。例えば、簡単な運動を取り入れたゲームや絵葉書作成、中秋の名月をテーマにした白玉団子作りなどを実施した。これらの活動を通じて、被災者同士のコミュニケーションが活性化し、住民間の絆を深めるきっかけとなった。

活動の成果と課題

今回の活動では、被災者の健康状態を継続的に把握する重要性を再確認した。また、仮設住宅の配置を工夫し、被災前の隣近所の人々が再び交流できるよう配慮したことは、コミュニティの維持に寄与した。健康教室は、健康意識の向上やセルフケア能力の促進につながったと考えられる。一方で、男性や高齢者世帯への支援が十分ではなく、特に男性の参加を促すための工夫が課題として残った。また、酷暑に対する対策をさらに強化する必要性があることも明らかになった。今後は、中長期的な支援体制を確立し、被災者の生活の質を向上させる取り組みが求められる。能登町での活動は、被災地支援における大学の役割を再認識させるとともに、学生にとっては実践的な学びの場となった。福井大学は、今後も地域と連携し、包括的な支援活動を継続していく所存である。

能登町支援活動を通して

看護学科4年 おんち りりか
恩地 梨里花

1月に能登半島地震が発生し、甚大な被害が起きた。私は大学入学前から災害看護に興味を持っており大学からボランティアの募集があったため、3月から毎月1回ぐらいの頻度で参加した。主な支援内容は、DVT検診の補助、仮設住宅の戸別訪問、仮設住宅の集会所でのイベントの開催である。

私は、支援を通して被災者の方と長期的に関わっていくことの重要性を学んだ。集会所でのイベントは、毎回同じ集会所で行うため、被災者の方とも顔見知りになっていた。私自身初めて、災害慢性期にボランティアとして関わる中で、被災者の方が笑顔で楽しんでいる様子を見ることが出来た。仮設住宅に住んでいる方は、自宅が被害に遭っており、精神的にも経済的にも苦しんでいるのではないと思う。そんな中、集会所に足を運び、毎回楽しんでくれている様子から当たり前の生活がなくなった中でも長期的な支援は被災者の支えになるのではないと思う。

※原稿作成時の学年です。

看護学科4年 あおやぎ まどか
青柳 円郁

1月能登半島沖で発生した最大震度7の地震等の被害により、多くの方が被災し、死者も出る状況となりました。支援活動に参加した当初も、倒壊したままの建物や崩落し交通止めとなった街道をあちこちで目にしました。現在は工事も進み再建された部分もあるものの、完全な復旧はまだ先の状態です。

支援で関わった方とのお話では避難生活の大変さや命があることへの感謝、先が見えない不安の中でそれでも前に進まなくてはならないと言った言葉が聞かれました。

このような状況で看護師として出来ることは、今までとは変わってしまった生活で高まる健康リスクを理解し、健康調査や健康に関する情報を伝えていくこと、また被災した辛さを抱えたままでも生活再建を目指していくストレスを、抱え込まずにリラックスして話をできたり気分転換出来る様な時間や環境の提供であると考えました。支援活動を通し、心身両面から地域の方々の健康を支えることの重要性を感じました。

※原稿作成時の学年です。



令和6年7月13日 支援メンバー集合写真



令和6年8月22日 絵葉書作成



令和6年10月26日
ハロウィンマスク作成



令和6年12月22日
体調確認のための血圧測定

能登半島地震のボランティアに参加して

医学科4年 いとう ゆうき
伊東 裕基

昨年度の元旦に能登半島地震が発生してから今までに多くの方が支援のために能登へ入っており、私自身も何度かボランティアに関わらせていただく機会がありました。ここではその経験をいくつか記載させていただこうと思います。

まず、一言にボランティアと言っても関わる方法自体は様々ありますが私の場合は、大学経由、大学外の団体経由、個人での参加、以上の3通りの方法で参加しました。

最初に、大学経由での場合は基本的には大学の先生方の活動に同行させていただく形式になります。発災当初の1、2月あたりは災害医療サークルで学生を集めたうえで、関わりがあった先生方に許可を得て参加させていただくことができました。学生としては発災後早期に能登へ入ることができ貴重な経験ではありましたが、同時に多くの方々へご迷惑をおかけし、支援に入ることそのものの難しさなど多くのことを学ぶ機会になりました。

2つ目の大学外の団体経由の活動ではDMASという学生団体（日本災害医学会の学生会）の一員として、石川県庁に設置されていたDMAT本部での活動を1月中旬に2日間ほど行いました。活動内容は若干複雑になるため割愛させていただきます。ここで活動するうえで本部運営に関して事前に持っていた知識も多少はありましたが、本部が実際にどう動いているのかなどを目の前で見ることができたのは非常に大きな経験になったと思っています。

3つ目の個人で参加したものとしては、福井県が運営していた珠洲市へのボランティアバスでの一般ボランティアです。参加したのは3月頃で移動にも時間がかかる時期であったので朝4時頃福井で集合し、能登へ向かったうえで9時から16時頃まで活動するといったものでした。内容は個人宅の敷地内の清掃作業、津波で流されてきたがれきの撤去作業を行いました。作業量自体が多く、一軒の敷地内で10数人が1日かけて作業をしても清掃しきれないことがあり、復興にかかる負担の大きさを、身をもって実感しました。

自分がどの程度支援に貢献できたのかは分かりませんが、結果としてこれらの活動に関わって良かったとは思っています。

支援への関わり方はこれ以外にも様々なものがあります。大学内のものでも医学科、看護学科ともにボランティアの案内は今後も定期的に流れて来ると思いますので、学年を問わず興味のある方はぜひ参加してみてください。

※原稿作成時の学年です。

特集2

テキサスメディカルセンターより >>>

University of Texas Health Science Center at Houston 神経内科レジデント

きのした とも き
木下 智貴 (令和2年度医学科卒業生)

医学部医学科・看護学科の新入学生の皆様、ご入学おめでとうございます。

2021年卒業生の木下智貴と申します。現在、University of Texas Health Science Center at Houstonで神経内科レジデントとして研修を行っています。このたび『くずりゅう』への寄稿の機会を頂き、大変光栄に思います。この記事を通じて、臨床留学という進路を少しでも身近に感じていただければ嬉しいです。

学生時代と卒後の進路

私の福井大学での学生生活は脳形態機能学教室2に入り浸る生活でした。平日の授業後や休日も通わせて頂き、基礎研究の難しさと面白さを教えて頂きました。この経験から将来的には Physician Scientist として働いてみたいと思うようになりました。医学部低学年時には、日本とアメリカの臨床医学の違いについて深く理解していたわけではありませんでしたが、漠然と「アメリカの方が臨床と研究の両立がしやすいそうだ」と感じ、USMLE(米国医師国家試験)の勉強を始めました。英語は得意ではありませんでしたが、なんとか医学部4年生で USMLE Step1、医学部6年生で USMLE Step2CK に合格することができました。卒業後には栃木県の国際医療福祉大学病院で2年間の初期研修を修了。初期研修中に OET と呼ばれる臨床英語面接の試験を合格し、米国医師免許を取得しました。「せっかく米国医師免許を取得したのだから」と思い、卒後3年目には横須賀米海軍病院で

日本人フェローとして勤務しました。日本には米軍基地が何箇所もあり、その中には基地で働く軍人・軍人家族を治療するための米軍病院があります。米国人軍医のもとで日本にしながら米国医療を経験できるだけでなく、米軍基地特有の文化や行事にも触れることができ、非常に貴重な経験になりました。米軍病院で勤務中に、米国レジデンシーマッチングに参加して、現在勤務している病院に採用されました。米国レジデンシーマッチングは有料版の日本の初期研修マッチングと言えます。1つの病院に応募すると30ドル徴収されます。応募しても面接に呼ばれるかどうか分からないので、全米の病院に応募しました。150-200プログラムに応募して、現在勤務している病院にご縁を頂きました。

病院紹介とレジデント生活

テキサス州ヒューストンには、世界最大級の医療研究機関の集積地であるテキサスメディカルセンターがあります。ここには、全米トップの癌センター MD Anderson Cancer Center や、世界最大の小児病院 Texas Children's Hospital などが含まれ、約20,000人の医師・研究者が日々働いています。

私は、総病床数1,100床を誇る Memorial Hermann Hospital で主に研修を行っています。日本では神経内科は内科のサブスペシャリティですが、アメリカでは精神科から独立した背景があり、独自のトレーニングプログラムが存在します。4年間

のトレーニングを経て神経内科専門医の資格を取得する流れです。最初の1年間だけ内科ローテーション半分、神経内科ローテーション半分の研修で、以降3年間は神経内科だけの研修になります。(病院毎に異なり、場所によっては最初の1年間は内科トレーニングのみ、その後3年間神経内科トレーニングというプログラムもあるようです。)神経内科専門医を取得後は、大体数の人がサブスペシャリティトレーニングに進みます。米国神経内科には25を超えるサブスペシャリティ(脳卒中、てんかん、睡眠、神経筋疾患.. etc)が存在し、専門分野を確立することができます。

以上がシステムの説明になります。以下に具体的な研修例を紹介します。

例① Stroke Unit: 脳出血、硬膜外出血、硬膜下血腫、クモ膜下出血、脳梗塞、TIA等の入院患者のみを担当します。外科的介入が必要な場合には脳神経外科が手技を行います。主科は Stroke Neurology が担当します。

05:00-06:30: 出勤してカルテチェックと夜間イベントの確認

06:30-08:00: 担当患者の診察(5-10人程度)。フェローと相談して緊急のオーダー入力

08:00-12:00: チーム回診とカルテ書き。指導医x1、フェローx1、レジデントx2-3が1つのチームです。自分の担当患者のプレゼンをして、その日のプラン・全体的な治療方針・退院後の治療方針に関して話合います。

12:00-14:00(月・水・金):レクチャータイム。お昼ご飯を食べながら、General Neurology のレクチャーを受けます。この間の Call や緊急入院はフェローや指導医が担当します。14:00-17:00:新規入院の診察と方針決め(1日で2-5人ほど)。新規入院の方針決めが終わり次第、再度フェローとレジデントで全体の患者方針を確認。夜間チームへの申し送り作成と申し送り。

勤務終了時間ははっきり決まっており、新規入院が立て込んでいない限りは17時で申し送り後に帰宅可能です。帰宅後に呼び出しはありません。ただ、急性期 Stroke 患者が毎日コンスタントに入院することもあり勤務時間中は忙しいです。入院患者病棟なので、1週間に1日だけ平日に休日が貰えます。

例② Epilepsy Monitoring Unit: てんかん診断困難例、薬剤抵抗性てんかんのオペ前診断目的、てんかん手術適応患者のオペ目的入院等を担当します。持続的ビデオ脳波が取れる病室が10室ほどあり、予定入院患者を担当します。抗てんかん薬を漸減しながら、発作を誘発し、臨床症状とビデオ脳波記録を参考に薬剤選択等の治療方針を決定します。外科適応患者では、外科的処置により頭蓋内に電極を留置しててんかん発作焦点を同定します。

07:00-09:00:出勤して前日のイベントチェックと患者さんの診察。発作があればてんかんフェローと脳波を一緒にレビューしながら治療方針の相談。カルテ記入。

09:00-12:00:指導医とフェローと一緒に全患者の治療方針を議論。12:00-14:00(月・水・金):レクチャータイム。お昼ご飯を食べながら、General Neurology のレクチャーを受けます。この間の Call や緊急

入院はフェローや指導医が担当します。

14:00-16:00:フェローと一緒に脳波のレビューと簡単な Hands-on レクチャー。予定入院患者が到着次第診察とカルテ書き。終わり次第帰宅可能。

Epilepsy monitoring unit は基本的に予定入院患者しか来ないので、Active な患者さんはいません。半分入院、半分外来のような感じです。そのため週末2日間の休日が貰えます。日本ではてんかんユニットが充実している病院での勤務経験がなく、頭蓋内電極等も経験したことがなかったのも全てが新鮮でした。

神経内科特有のローテーションについて紹介しましたが、いかがでしたでしょうか。新入生の皆さんにとっては、臨床実習がまだ少し先の話ですので、イメージが湧きにくいかもしれません。ただ、福井大学の臨床実習で、初期研修医や後期研修医がどのように働いているかを実際に見ていただければ、日本と米国のシステムの違いがより鮮明になると思います。

学生時代を振り返って

振り返ってみると、福井大学を卒業できたことを本当に幸運だと感じます。24時間オープンな医学図書館や、新しく整備された学習スペース、そして綺麗な病院施設など、学ぶ環境が非常に整っています。外の環境を経験したからこそ、母校の素晴らしさを改めて実感しています。私もまだトレーニングを始めたばかりの身ですので偉そうなことは言えませんが、皆さんにはこの貴重な大学生活を最大限に活用していただきたいと思っています。勉強だけでなく、友人との交流、ボランティア活動、アルバイトなど、何事にも全力で取り組んでください。これらの経

験が将来的にどのような形で役立つかはわかりませんが、医療以外の分野の知識や経験は、患者さんの生活を理解する上でも重要な財産になります。

嬉しいことに、福井大学の学生さんたちが多方面で活躍している話をよく耳にします。私はコロナ禍のため利用できませんでしたが、ラトガース大学病院での臨床実習が順調に進んでいると聞いています。また、Methodist 病院の兒子先生の教室への留学もスタートしているとのこと。Methodist 病院は私が勤務する病院から徒歩数分の場所にあります。臨床実習でこちらに来られる際には、皆さんと直接お話しできるのを楽しみにしています。長くなりましたが、最後までお読みいただきありがとうございました。皆さんの学生生活が充実し、将来につながる素晴らしい時間となることを心から願っています。



特集 3

医師国家試験合格状況一覧 >>>> from 学務課

6年間で振り返って

福井大学医学部附属病院 研修医 **まつばら しろう 松原 史朗** (令和5年度医学科卒業生)



令和5年度卒業生の松原史朗と申します。現在は福井大学医学部附属病院で研修医1年目として勤務しております。同期の研修医は決して多いとは言えませんが、その分互いに助け合いながら研修を積んでおります。また、上級医の先生方や研修医2年目の先生方にはお忙しい中にもかかわらず1から丁寧にご指導ご鞭撻いただき、少しずつではありますが医師としての基礎を学んでいる最中です。

今回、このような執筆の機会をいただきまして誠に光栄に思います。働き始めてからは学生時代を振り返って、「もっとこうすればよかった」という月並みな反省をよくしております。もし、それがこれら福井大学で学ばれる皆さんの参考の一つになればいいなと思います。6年間で振り返りながら執筆させていただきます。

まずは勉学面からですが、私は学生時代、試験のために勉強するようなタイプでした。学問の内容そのものに興

味を持つよりも、いかに試験で点を取り、いかに受かるかのみ考えていました。このような勉強している方も少なくないのではないのでしょうか。実際、試験が終わった1週間後にはもう内容を忘れており、知識が身につくこともなく、今となっては後悔しています。試験のためだけに勉強していると、短期的な記憶に頼ることが多く、長期的に役立つ知識の獲得には繋がりにくいのです。その結果、試験が終われば一旦その内容を忘れて次に進むことが多く、結果として身になる勉強ができていなかったことに、今になって大きな後悔を感じています。初期研修医として臨床現場に出ると、学生時代に学んだ基礎医学や臨床医学の重要性を痛感させられます。病態の理解には欠かせない分野になるので、決して疎かにできません。研修医になってからもう一度勉強し直してもよいですが間違いなく学生時代に勉強しておくことをおすすめします。

勉学面以外ですと、ストレス管理や疲労への対処方法が意外と大事ななと思います。1, 2ヶ月でローテーションする診療科が変わり、勉強する内容や指導医も変わります。身体的な疲労はもちろんですが、精神的な疲労も溜まっていき、モチベーションの維持が難しくなってしまいます。十分な睡眠、食事を取り、適度な運動をすることや、独自の方法でもよいので何かしら見つけておくと思います。大学生活でも負荷がかかる場面は多々あります。セルフケアを心がけてください。

ここまで読んでいただきましてありがとうございます。今後の学生生活のご参考の一つにいただければ嬉しいです。長いようで短い6年間だと思います。日々を大切に楽しんで素敵な大学生活を送ってください。そして福井大学で学ばれ成長された皆さんを臨床の現場で目にする日を楽しみにしております。

区 分	卒業 年度	受 験 者 数 (人)		合 格 者 数 (人)		合 格 率 (%)	国立大等 (位)	全大学等 (位)
		新 卒	既 卒	新 卒	既 卒			
第115回 医師国家試験	R2	115	7	111	2	(96.5) 92.6	21/43	43/80
第116回 医師国家試験	R3	107	7	104	4	(97.2) 94.7	11/43	25/81
第117回 医師国家試験	R4	101	5	97	4	(96.0) 95.3	8/43	23/82
第118回 医師国家試験	R5	120	5	115	2	(95.8) 93.6	19/43	45/82
第119回 医師国家試験	R6	118	8	118	6	(100.0) 98.4	1/43	4/82

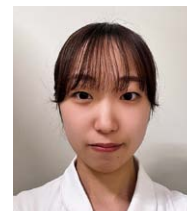
(注)()内は、新卒者の合格率である。

保健師・助産師・看護師国家試験受験状況一覧 >>>

from 学務課

国家試験を受験される皆様へ

福井大学医学部附属病院 看護部 谷口 優月 (令和5年度看護学科卒業生)



はじめまして。看護学科卒業生の谷口優月と申します。私は今、福井大学医学部附属病院で看護師として働いています。看護師としてまだまだ未熟ですが、日々先輩方から多くのことを学ばせていただき、よりよい看護ができるように励んでいます。

今回は私の国家試験についてのお話をさせていただければと思います。看護学科のみなさんのこれからの学生生活や国家試験の勉強の参考になれば幸いです。

私が本格的に国家試験対策を始めたのは4年生の夏休みが終わった頃だったと思います。勉強方法としては、初めに過去問題を解き、どんな問題が出題されているのかや、今までの傾向をおおまかに把握しました。次にレビューブックを利用して疾患や解剖などを細かく理解し自分の中である程度の知識を落としこんでからもう一度過去問題を繰り返し解いたり模試の直しをしたりして確実に知識が身につくようにしました。私ははじめ1人で勉強の方が集中できて好きだったのですが、国家試験の勉強をする上では友達と勉強する方が知らなかったことを知る機会にもなり、心が折れそうな時にも励まし合えて大きな心の支えになるので友達と勉強することをおすすめします。特によかった勉強方法は友達同士で授業をすることです。自分が得意とする分野は友達にホワイトボードを使ったりしながら教えていました。人に教えることで自分自身の知識もより確立されたと思います。逆に苦手な分野は友達から教えてもらい、分からないところをたくさん聞くようにしました。この授業方式で勉強をすると、その時声に出したことなどが強く頭の中に残り後から思い出しやすくなりました。初めはどうやって勉強すればいいのか迷ってしまうかと思いますが、徐々に自分に合った勉強方法を見つけていくとスムーズに勉強が進むと思います。

また、私は看護師の他に保健師の国家試験も受験したのですが、初めは保健師の分も合わせて覚える量が倍になるんだと考えていました。しかし、看護師の国家試験の範囲に保健師で勉強することも多く含まれており、保健師で勉強していたからこそ理解できる内容もたくさんありました。保健師のカリキュラ

ムに進むかどうか迷った時もあったのですが、今では保健師の資格もあることでこれからの選択肢が広がるので挑戦してみても本当によかったと思っています。

国家試験が近づくにつれ、自分に自信がなくなってしまうこともあるかと思いますが、た

くさんの課題や実習、勉強を乗り越えた自分を信じて国家試験に挑んでいただければと思います。最後になりますが、国家試験まで体調は崩さないよう温かくしてお過ごしください。みなさんの国家試験合格を心より願っています。ご一読いただき、ありがとうございました。

保健師国家試験

区 分	卒業 年度	新 卒		既 卒		総 数			全国 平均 合格率 (%)
		受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	合格率 (%)	
第107回	R2	14	14 (100 %)	0	0	14	14	100.0	94.3
第108回	R3	17	17 (100 %)	0	0	17	17	100.0	89.3
第109回	R4	14	14 (100 %)	0	0	14	14	100.0	93.7
第110回	R5	15	15 (100 %)	0	0	15	15	100.0	95.7
第111回	R6	20	19 (95.0 %)	0	0	20	19	95.0	94.0

(注) () 内は、新卒者の合格率である。

助産師国家試験

区 分	卒業 年度	新 卒		既 卒		総 数			全国 平均 合格率 (%)
		受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	合格率 (%)	
第104回	R2	3	3 (100 %)	0	0	3	3	100.0	99.6
第105回	R3	4	4 (100 %)	0	0	4	4	100.0	99.4
第106回	R4	3	3 (100 %)	0	0	3	3	100.0	95.6
第107回	R5	5	5 (100 %)	0	0	5	5	100.0	98.8
第108回	R6	5	5 (100 %)	0	0	5	5	100.0	98.9

(注) () 内は、新卒者の合格率である。

看護師国家試験

区 分	卒業 年度	新 卒		既 卒		総 数			全国 平均 合格率 (%)
		受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	合格率 (%)	
第110回	R2	58	58 (100 %)	0	0	58	58	100.0	90.4
第111回	R3	62	62 (100 %)	1	1	63	63	100.0	91.3
第112回	R4	62	62 (100 %)	0	0	62	62	100.0	90.8
第113回	R5	63	63 (100 %)	0	0	63	63	100.0	87.8
第114回	R6	61	61 (100 %)	0	0	61	61	100.0	90.1

(注) () 内は、新卒者の合格率である。

特集4

先輩学生からの応援メッセージ >>>

「新たな一步を福井で。」

福井大学医学部へのご入学、おめでとうございます！皆さんの努力が報われた結果だと思えます。これからの大学生活では、異なるバックグラウンドを持つ人々と出会い、多くの学びや刺激を得る機会があります。ぜひ積極的に人と関わり、視野を広げてください。

私は別の大学を卒業後に就職を経験し、学士編入で再び大学に戻りました。その中で実感したのは、「ビジョンを持つことの重要性」です。自分が「こうなりたい」というビジョンを持つことで、大学生活はより有意義なものになります。福井大学は、学業に集中できる設備や、部活動に注力できる環境が整っています。まだ具体的な目標が決まっていなくても、「なりたい姿」をイメージし、それに向けて一歩ずつ進んでみてください。

私の場合、研究に興味があったため、基礎医学を終えた頃から研究室の活動に参加しました。先生方はとても協力的で、多くの指導をいただき、また研究内容を学会で発表する機会もいただきました。学会の雰囲気にも直に触れ、他大学の学生の発表から刺激を受けることができ、非常に貴重な経験でした。もちろん学会参加費は補助で賄えたので、旅行気分でも楽しむことができました！しかし、大学生活では「与えられることだけをこなす」のでは不十分な場面も増えます。課題に直面したら自分で考え、解決する力が求められるようになります。現状に満足せず、勉強や部活動を含め、さまざまなことに挑戦してください。

福井には素晴らしい自然や美味しい食べ物がたくさんあります。BBQやキャンプ、スノーボードなど自然を満喫する機会が豊

医学科6年 ^{さとう いずる} 佐藤 出



富で、越前ガニをはじめとする海の幸や、蕎麦、お米、野菜など美味しい食材も豊富です。さらに、水が美味しい福井では、日本酒も格別です。大学生活では自由な時間が増えるので、ぜひ福井の魅力を存分に楽しんでください。一方で、大学が街の外れにあるため、都会のような遊び方は少し難しいかもしれませんが、その分、学生同士のつながりが強くなる環境があります。医学部では、卒業後も医療の現場で仲間と助け合うことが多いため、学生時代の関係は将来においても大きな財産となります。先輩後輩の垣根を越え、信頼できる仲間をたくさん作ってください。

最後に新たに福井大学医学部に入学された皆さんと一緒に学生生活を送れることを、心より楽しみにしております。これからの大学生活が充実したものになるよう願っています。

「新生活を迎える皆さんへ」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。福井大学松岡キャンパスへようこそお越しくださいました！これから始まる新生活に胸が弾んでいることと思います。私たちと一緒に充実した学生生活を送りましょう。

大学生活は良くも悪くもとても自由です。私が大学に入学して強く思うことです。大学生になって一人暮らしを始める方もいるでしょう。親元を離れて、自分で身の回りのことをしていかなければなりません。そこで重要になってくるのが友人や先輩の存在です。不安なことや難しいことは、相談したり協力したりして乗り越えることができます。この経験が自分を成長させてくれたなと心から感じています。そこで、友人や先輩と出会うために、私は部活動やサークル活動に参加することをおすすめします。

福井大学松岡キャンパスには、体育系から文化系まで多くの部活・サークルが存在しています。きっと皆さんに合うものが見つかるはずです。皆さんの大半の方は、大学は勉強で忙しいと考えているでしょう。実際その通りなのですが、勉強をすることだけが大学生活ではありません。部活・サークルの仲間、学科の友達、アルバイトの先輩などなど…人脈もとても広がって成長できますし、一緒に旅行へ行ったりなど、自由であるからこそできることが増えてとても楽しいですよ！友達同士で海外旅行へ行っている人もたくさんいて、私も卒業までに行きたいと思っています。

勉強に関しても少し触れておきましょう。看護学科では、座学だけではなく演習も多くあります。実際の現場を想像しながらさまざまな看護技術を学ぶことができてとて

看護学科4年 ^{とだ きらり} 戸田 きらり

も楽しいです。さらに、今年度から看護科のユニフォームも新しくなり、モチベーションも上がるのではないのでしょうか。病院での実習も1年次から行われるため、早期から看護の現場を実際に目にするができます。さらに、先輩とグループになって情報交換ができる場があり、とても参考になりましたし、大学生活に活かすことができたなと思っています。

これからの大学4年間でさまざまなことを経験し、学び、自分のものにしていきましょう。大学4年間は長いようでとても短いです。やり残したことや後悔がないように、福井大学での看護学生生活を思いっきり楽しんでくださいね。

特集 5

日本医学教育評価機構（JACME）による医学教育分野別評価において、評価基準に適合と認定されました。

日本の医学教育の質を国際的見地から保証する目的で、2017年度（平成29年度）から、日本医学教育評価機構（JACME）により、世界医学教育連盟（WFME）が定める国際基準に基づく医学教育分野別評価が始まりました。同評価で認定を受けた医学部等は、医学教育の質が国際基準に適合しているといえます。また、その医学部等の卒業生は、米国医師国家試験（USLME）受験資格審査試験を受験することができます。

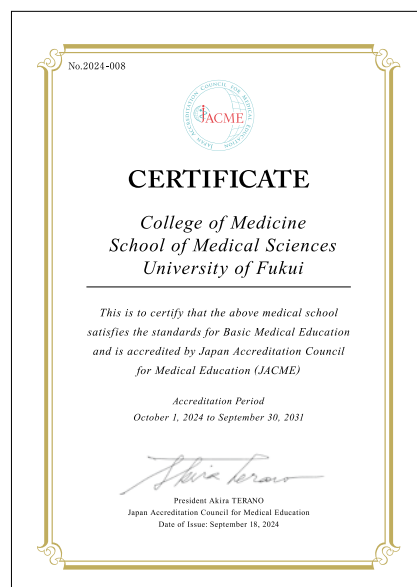
福井大学医学部医学科は、2023年度に同評価を受審し、評価基準に適合していることが認定されました。認定期間は2024年10月1日～2031年9月30日です。

実際の評価は、自己点検評価報告書による書面審査と、日本医学教育評価機構（JACME）の評価員7名による実地調査（2023年12月11日～15日）により行われました。実地調査においては、講義や実習の見学、評価員との面談等、学生の皆さんにもご協力を頂きました。

事前の受審準備においては、医学教育分野別評価専門部会を立ち上げ、全教授および関係する部署の職員が参画・分担して自己点検を行ったこと、コロナ禍により当初の受審スケジュールが大きく変更となったことなど、苦勞する点も多くありましたが、教職員が一丸となって取り組みました。

医学教育分野別評価では、今後も定期的に自己点検、教育の質の改善が求められます。福井大学医学部においては、今回の評価で示された「特色ある点」、および「改善のための助言／示唆」を踏まえ、医学科の教育の質の更なる向上を目指します。

なお、2025年度には、看護学科において、日本看護学教育評価機構（JABNE）による看護学教育（分野別）評価の受審を予定しています。看護学教育においても、教育の質の向上に向けて改善に取り組みます。



特集 6

私達なりの地域医療を形にしてい

地域医療サークルぶちぶらサークル / 医学科2年 ^{たかだりさ} 高田 莉咲

私は地域医療サークルぶちぶらサークル長の医学科2年高田莉咲です。7月20日(土)に行われた行事について活動報告をさせていただきます。

「医学博士になろう!」を開催する目的は、地域の方との交流を通し、地域医療を行う上で不可欠な住民とのコミュニケーションを実践的に学ぶことと、地元の小学生に当行事を通して地域医療に触れ、興味を持ってもらう機会を提供することです。具体的な内容としては、医師の診察・手技を本格的に体験できるコーナーや、手作りのボードゲームやクイズを通して医療に関する知識を身に着けることができるコーナーなどを企画・運営しました。当行事は他サークルや外部の団体との合同企画で、徐々に規模を拡大しております。今回は、放課後教室 Togetherさんと、NPO法人かさじぞうさ

ん、福井県立大学のボランティアサークルの方々などと合同で開催し、当行事の後でかさじぞうさんの子ども食堂の活動に合流させていただきました。参加した小学生の楽しそうな様子は、我々大学生にとっても大きなモチベーションになりました。今後も災害医療サークルや小児医

療サークルなどともコラボし、活動の幅を広げ、我々だからこそできる行事にアップデートしていきたいと考えております。

今回の行事に関する資料・活動の様子を添付させていただきます。今後とも何卒よろしくお願いいたします。



※参加当時の学年です。

茶会におけるおもてなし

茶道部 / 医学科2年 ^{よしだ} 吉田 きよみ

処暑の候、私たち福井大学医学部茶道部は全国学生大茶会という場でお客様をおもてなしするため金沢へ赴いた。中村記念美術館に隣接している耕雲庵というお茶室において、台風の猛威を見事に跳ね除ける晴天での実施だった。

私はこれまでお茶室でお菓子とお茶をお出しすることだけがおもてなしなのだと思います。形にとらわれていた。しかし、おもてなしには形だけでなく、心がこもっていることを知った。お床にはお床に飾るお軸からお点前に使うお道具ひとつひとつまでを丁寧に吟味し一つのテーマにそって組み立てる。お客様が快適なひ

とときをお過ごしできるようお庭を整え、畳にはちりひとつ残らないよう掃除する。そしてお客様が席入りされると亭主が出て来てお菓子、お茶を差し上げる。ここまでのすべてが滞りなく進み、お客様に心から喜んでもらうことができ初めておもてなしが成立するのである。そのため心をこめておもてなしすることがとても大切なのである。これからの季節、学校祭などさまざまな場面でお客様をおもてなしするが、その際にはこのことを思い出して学びを活かしていきたいと考えている。



※参加当時の学年です。

医学部の皆さん、ありがとうございました

まつ おか さとし
松岡 達 (退職時所属・職名：形態機能医科学講座 統合生理学分野 教授)



2013年9月に福井大学に赴任してから、11年がたちました。あっという間に時間がたってしまったように感じます。福井大学医学部の教員、職員、そして学生の皆様には大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。

福井大学ではいろいろな経験をさせて頂きました。特に医学教育に関しては多くの勉強をさせて頂きました。前任の大学は学生の主体性を重んじる校風だったため、医学教育は悪く言えば放任状態で研究が最優先でした。しかし、2013年度から始まったJACMEによる医学教育分野別評価により、医学教育は大きく変わったと思います。いわゆる国際標準に準拠した教育体制になっているかを細かく評価されるようになりました。皆様もご存知のように、本学も2023年度に医学教育分野別評価を受診しましたが、結構厳しい評価を受けました。教員が医学教育に負う責任もこの10年で格段に大きくなった様に思います。私自身は、医学科2年生の生理学（個体の調節機構とホメオスタシス、神経生理）と看護学科の生理学（形態機能論Ⅱ）を主に担当しましたが、「医学教育モデル・コア・カリキュラム」に準拠した内容になっているのか？学生がCBT・医師国家試験に合格できる内容になっているのか？講義資料

はPDFで配布して良い内容か？などいろいろと考慮しなければならない項目が増えました。

福井大学で初めて経験したのは、高校生を対象とする実験・実習でした。“Fukui Medical High School (FMHS) 研究体験プログラム”や“ひらめき☆ときめきサイエンス”で、高校生達と実験・実習をするのはとても楽しい経験になりました。一方で、自身の研究時間をやや圧迫することになり、時間配分が難しかったと思います。

研究では、心筋細胞及びミトコンドリアの Ca^{2+} 動態を中心に、生理学実験とコンピュータを駆使した数理モデル解析を組み合わせた研究（フィジウム研究）を行ってきました。失敗は多々ありましたが、ある程度まとまった成果を出すことができましたと思っています。一緒に研究した教室スタッフの皆さん、大学院生、そして共同研究者の先生方に心より感謝申し上げます。コンピュータ技術は日進月歩で、人工知能（AI）を活用した研究やAIを利用する日常生活が当たり前の時代になりつつあります。10年前には予想できませんでした。数理モデル解析のみならず、コンピュータを駆使した医学研究はこれからも発展していくと思います。また、教育と同様に研究においても、成果が厳しく問われる様になりまし

た。“生理学研究は時間がかかるので、ボンボンと論文は出てこない！”というのが、以前の私の考えでしたが、そんな言い訳はもはや通じません。論文の数がなかなか増えなかったのは、反省点として残ります。

古い人間が去り、新しい人がやって来ます。新陳代謝が進んだ福井大学医学部が次の10年でどのように発展しているのか、とても楽しみです。皆様のご活躍を願っております。ありがとうございました。

福井大学医学部の益々の発展を願っています

いしづか たもつ
石塚 全 (退職時所属・職名：病態制御医学講座 呼吸器内科学 教授)



2012年12月に内科学(3)・教授として着任してあっという間に12年余りが過ぎ、今年3月末で定年退職となります。昨年4月までは内科学(3)分野の教授として呼吸器内科と内分泌・代謝内科の2つの内科領域を担当しましたが、5月からは呼吸器内科学分野と内分泌・代謝内科学分野に分かれましたので、呼吸器内科学分野の教授として退職を迎えることになりました。この間、福井大学医学部の教職員の皆様には大変お世話になり、紙面を借りて御礼申し上げます。

昨年までは学生の臨床実習は内科学(3)として担当してきましたので、附属病院の呼吸器内科、内分泌・代謝内科の医師が協力しながら学生の指導、教育を行ってきました。現在、附属病院では内科という診療科は存在しませんが、今後もそれぞれの内科が協力し合って、患者の全身の状態を把握して診断、治療する臨床の根底にある内科学の教育が充実すること願っています。

私は子供の頃より父の転勤のために、横浜、鹿児島、岡山、神戸、前橋といろいろな場所で暮らしましたが、日本海側での生活は福井が初めてでした。当初は冬に雷が鳴ることに違和感を覚え、雪にも戸惑いましたが、今では長靴をはいて自動車を運転するのにもすっかり慣れました。着任

時には呼吸器内科、内分泌・代謝内科の医師は非常に少なく、診療、教育、研究をバランスよく推進するのが難しい状況でしたが、幸いいずれの診療科でも12年間で医師が徐々に増えてきました。今年度もまた数名ずつ専攻医が増える予定です。

呼吸器内科では病棟を担当する医師が5名からのスタートでしたが、肺癌と間質性肺疾患を中心に、診療、臨床研究を進めてきました。現在では2人の講師が中心に後輩の指導をしてくれており、福井赤十字病院や市立敦賀病院に派遣している医師と連携して、肺癌の臨床試験の成果を論文として発表できるようになりました。OBの先生のご尽力で難治性呼吸器疾患診断・治療学講座(寄附講座)を開設していただいたおかげで、私たちと、他大学の放射線診断医、病理診断医とが連携して、間質性肺疾患の集学的検討(MDD)を定期的に行える環境も整い、診断精度を高めることができるようになりました。私の任期中にできなかった肺癌と間質性肺疾患での基礎医学的な研究を今後進めていけることができればいいなあと後輩医師たちに期待しています。

呼吸器内科は南5階病棟30床を有していますが、いつも30名以上の患者が入院している状況で、呼吸器外科とも連携して診療しています。

肺癌と間質性肺疾患のような専門性の高い難治性疾患を診療するのが本来の大学病院の役目だと思いますが、福井県は呼吸器専門医が少なく、高齢者の肺炎患者やCOPD、喘息患者を時間外に受け入れることも多いのが現状です。そんな状況でも皆頑張ってくれています。

現在の医学部の学生さん、新入生の皆さんは将来の医師、看護師などの医療従事者を目指して医学部で勉学、部活動、アルバイトなど、学生生活を謳歌しているものと思います。卒業後、どこで医師になっても、福井大学の卒業生として誇りをもって頑張ってください。医学研究で新たな知見を見出せるような人材が多く輩出されることを期待しています。将来、福井県で医師として働く場合にはぜひ福井大学とつながりをもって研修してください。福井大学の卒業生が福井大学病院を中心とした地域医療体制を構築されることを願っています。

私は4月から31年前まで勤務していた群馬県の民間病院で内科医として地域医療の第一線で働く予定です。体力と知力の続く限り頑張りたいと思っています。

福井大学で学んだこと、そして 新たな世代へのメッセージ

いわさき ひろみち
岩崎 博道 (退職時所属・職名：医療環境制御センター感染制御部・感染症膠原病内科 教授)



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私は、1980年に福井医科大学医学部医学科に第1期生として入学してから45年間この大学で過ごさせて頂きました。大学生活を振り返り、思い出すことを書いてみたいと思います。

開学当時、講義棟が一つポツンと立つ松岡キャンパスの合併講義室での入学式が懐かしく思い出されます。つい先日この講義室で行われた、医学部4年生のステューデントドクター認定式において、同窓会（白翁会）の代表理事として祝辞を述べました。入学当時、おおよそ半世紀後に同じ部屋で話をしている自分の姿を想像することはできませんでした。

1986年に卒業し、直ちに第1内科（血液・循環器内科）に入局しましたが、当時の医師免許証交付が6月でしたので、それまでの期間は研修医見習いという立場でした。この時期、最初に受け持った症例が、医師国家試験にもよく出題される“つつが虫病”という感染症で、福井県ではまれなダニ媒介性リケッチア症でした。このことがきっかけとなったのか、現在も感染症に深く携わり、日本リケッチア症臨床研究会の会長も務めました。

1994年には、米国のヒューストンにあるテキサス大学MDアンダーソンがんセンターへ留学する機会を

頂きました。福井を離れたこの2年半は、当時、常時携帯していたポケットベルから解放され、家族と多くの時間を共有できた特別な時間でした。この頃、抗がん剤に関する研究を行いましたが、テキサス大学の大きな図書館には、ほぼすべての主要雑誌の初巻から全巻が保管されており、論文作成のため引用文献を探す際、その日のうちに必ず目的とする文献にたどり着くことができました。当時はまだオンライン検索が実用的ではなかったため、この便利さに驚きを感じたものでした。若い頃は新しい環境での経験を積む絶好の機会ですので、皆さんもぜひ海外に目を向け、一步を踏み出してみて下さい。きっと新しい発見が沢山見つかることでしょう。

帰国後1997年から白血病などの免疫不全患者に合併する感染症、その中でも真菌症の臨床研究が進み始めました。とくに深在性真菌感染症の診断に用いられる β -D-グルカン

には日本感染症学会・化学療法学会合同西日本支部総会会長を私自身が務める機会も頂きました。この学会を終えてホッとしていた頃に、在任中、最大の問題となった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な大流行が始まりました。2020年の春に福井県も第1波に見舞われ、大学病院の体制維持だけではなく、県内の感染対策に関して県知事からも直接に意見を求められました。この未曾有の危機の中で、私自身も試行錯誤を重ね学び続けてきましたが、周囲の皆様に支えられながら何とか解決にたどり着くことができました。学生の皆さんも今後、予測不可能な困難に直面しても、柔軟な思考と周辺の仲間との連携を大切にしながら乗り越えていって欲しいと思います。

学生時代および大学在職期間中の長年にわたり、多くの方々に大変お世話になりました。この場を借りて深く御礼申し上げます。退職後には、福井県内の保健所での勤務を命じられたこともあり、医療や公衆衛生に携わりながら社会に貢献していきたいと思います。学生の皆さんも将来どのような道に進むとしても、自分を信じて歩んでください。

定年退職を迎えるにあたって

ことう のぶ ゆき

後藤 伸之 (退職時所属・職名：学術研究院医学系部門 (附属病院部) 教授 (薬剤部長))



貴誌に退職にあたりご挨拶を申し上げる機会を頂きありがとうございます。私は 2017 年 4 月に薬剤部教授および薬剤部長を拝命し、「肅々とやるべきことに取り組む」をモットーにして職務に従事し、この 3 月で本学の定年退職を迎えました。実は、今回が本学の 2 度目の退職となります。1 度目は、1983 年に附属病院スタッフ (文部技官 薬剤師) として採用され、附属病院開院時に勤務し、さらに本年 3 月現在まで在籍していた職員は、ほとんどおらず絶滅危惧種ともいえる一人です。そこで、開院当初と現在を比較してみたいと思います。当時の資料では、薬剤部職員は 10 名、外来診療が開始された 1983 年 10 月 20 日 (晴れ 最高 20℃ 最低 13℃) の受診患者数は 75 名、処方箋枚数 41 枚。入院診療 (320 床) が開始された 10 月 24 日の入院処方箋 15 枚、注射箋 9 枚で、薬剤部職員は 10 名でした。現状である 2024 年 10 月の 1 日平均当たりの外来の状況は、患者数 1455 名、外来処方箋 615 枚、外来注射箋 224 枚。病床も 600 床になり、入院の 1 日平均当たりの状況は、入院患者数 552 名、処方箋 339 枚、注射箋 796 枚で、対応する薬剤部職員数も薬剤師 43 名、薬剤補助員 5 名にまで増えています。開院当時は、今では考えられない程のゆっくりとした時間が病院の中は流れていました。

その後 23 年間、私は附属病院の

薬剤師として業務の傍ら研究にも取り組み、2006 年 3 月に本学での 1 度目の退職をし、母校である名城大学薬学部にて医薬品情報学研究室を主宰させて頂きました。その後、ご縁があり 2017 年 4 月に薬剤部教授として着任し、薬剤部の管理運営を始め院内の医薬品安全管理など様々な経験をさせて頂きましたが、薬剤部教授として附属病院に戻ってみると、改めてその責任の重さを痛感したことを鮮明に覚えています。福井県唯一の特定機能病院であり、本院の基本理念「最新・最適な医療を安心と信頼の下で」を薬剤部として、いかに診療支援、教育、研究を通して社会に貢献すべきかについて常に念頭に置き考え、薬剤部の基本方針：ALL for One, One for ALL (たくさんの方の情報を目の前の一人の患者さんのために活用する。役に立つ 1 つの情報を構築し、多くの患者さんに活用する。人々の健康と福祉の向上に貢献する薬剤部をめざす。) として励んできました。何とか無事に 2 度目の退職 (定年) を迎えることができましたのも、一致団結して業務に取り組んでくれた薬剤部職員全員のお蔭です。

研究面では「医薬品適正使用」、「患者アウトカムへの貢献」をキーワードに病院薬剤師として業務遂行中に臨床の場で遭遇する問題点 (クリニカルクエスション) の解決を目的に、リサーチ・クエスションを設

定し「エビデンスをつくる、つたえる、つかう、おしえる」のプロセスでのテーマとして取り上げて医療薬学領域の研究を行ってきました。診療科の先生方とも数多くの共同研究もさせて頂きました。しかし、働き方改革などもあり、我々が育った時代とは大きな環境の変化があり、私も若手の病院薬剤師へ向けた「研究」のすすめに努めてきましたが、後任の教授の下で、より充実され、益々の発展を期待しています。

最後になりますが、常に薬剤部をご支援いただきました学長、医学部長、病院長をはじめ、各診療科・研究室の先生方、看護部・医療技術部・事務部などの部門の皆様には心より感謝申し上げます。引き続き薬剤部への一層のご支援をお願いするとともに、福井大学の益々のご発展を祈念し、退職の挨拶とさせていただきます。のべ 31 年間の長きにわたりありがとうございました。



と お や ま た だ し
遠山 直志

- 所属・職名：腎臓病態内科学 教授
- 就任年月日：2024年4月1日
- 出身高校：高岡第一高等学校（富山県）
- 出身大学：金沢大学
- 就任前の職名：金沢大学附属病院 先端医療開発センター 生物統計部門長
- 趣味・特技：プログラミング、チェス

平成15年に金沢大学医学部を卒業しました。令和6年4月より腎臓病態内科学 教授および、附属病院 検査部長を拝命しています。これまで腎臓内科としての職務に加え、集中治療部(ICU)、生物統計部門での職務経験がありま

す。研究面では個別化医療の実現に向けた臨床研究を進めています。これまで腎疾患領域以外の診療・研究にも関わってきた経験を生かし、多方面から福井大学に貢献していきたいと思っています。特に医学生の皆さんには、在学中か

ら最新の臨床研究に触れる機会を提供し、医学研究の面白さを感じていただきたいと思います。この経験が、将来の医療人としての視野を広げることにつながれば幸いです。



う す い ひ ろ や す
宇随 弘泰

- 所属・職名：臨床看護学 教授
- 就任年月日：2024年4月1日
- 出身高校：福井県立高志高等学校
- 出身大学：福井医科大学
- 就任前の職名：循環器内科学 准教授
- 趣味・特技：読書、旅行、映画鑑賞

私は松岡町出身で、松岡小学校・中学校、そして福井医科大学で学び、人生の大半を地元で過ごしてきました。今年4月から現職を拝命し、これからもこの地を活動の場としながら医療に携わり続けることになりそうです。福井には、地域特有の課題が数多く残されており、

ここだからこそ解決できる問題もあると感じています。地域医療の諸問題は、私が医師として歩み始めた頃からの継続的な課題であり、いまだすべての人に納得される解決策を見出せていない現状です。これまで循環器領域を中心に臨床活動を行ってきましたが、今後はより

広い分野での取り組みを目指してまいります。また、自らの研究を進めるだけでなく、困難な課題に挑む人材の育成にも貢献したいと考えております。今後ともご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



の さ か た く と
野阪 拓人

- 所属・職名：内科学（2）分野 消化器内科 講師
- 就任年月日：2024年4月1日
- 出身高校：福井県立藤島高等学校
- 出身大学：福井大学医学部医学科
- 就任前の職名：内科学（2）分野 消化器内科 助教
- 趣味・特技：スポーツ観戦、旅行

2024年4月1日付で内科学（2）分野消化器内科・講師を拝命いたしました。私は福井市出身で、2010年3月に本学を卒業後、2012年4月に内科学（2）分野に入局し、消化器内科学および肝臓学の研鑽を積んでまいりました。現在は主に肝臓疾患領域を担当し、

肝がん症例に対する焼灼療法や薬物療法、また慢性肝疾患の診療に取り組んでおります。研究面では、がん免疫微小環境の機能的解析、末梢血循環腫瘍細胞のプロファイル解析、そしてB型肝炎ウイルス克服を目指す研究等に従事しております。

母校である本学に温かく育てていただいたことへの感謝を胸に、更なる発展に貢献できるよう診療・研究・教育に尽力してまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。



つよし ひで あき
津吉 秀昭

- 所属・職名：産科婦人科 講師
- 就任年月日：2024年4月1日
- 出身高校：滋賀県立膳所高等学校
- 出身大学：福井医科大学
- 就任前の職名：産科婦人科 助教
- 趣味・特技：読書、旅行

生命誕生の喜びと、産婦人科の先生方が楽しく仕事をされている雰囲気にかれ、2002年卒業と同時に入局しました。当時、おやつをたべながらまったり談笑していても、いざ分娩・帝王切開など緊急時には、1分1秒をあらそうスピードで、一致団結して対応する様子

を目の当たりにし、チーム医療の大切さを学ぶことができました。以後20数年経過しましたが、医局の雰囲気は当時と変わらず温かく、チームの結束は以前にもまして強くなっています。私が専門とする婦人科癌領域においても、病院内外の多くの方々にサポートいただきなが

ら、治療に当たらせていただいております。多くの患者様の健康に貢献できるよう精進してまいります。今後とも、ご指導とご支援のほどどうぞよろしくお願いいたします。



あお き み く
青木 未来

- 所属・職名：看護学講座 コミュニティ看護学 講師
- 就任年月日：2024年4月1日
- 出身高校：石川県立金沢泉丘高等学校
- 出身大学：金沢大学
- 就任前の職名：コミュニティ看護学 助教
- 趣味・特技：マラソン、着付、海外旅行

令和6年4月1日付でコミュニティ看護学分野（老年）の講師を拝命いたしました。金沢大学大学院を修了し、福井大学で教員となって6年が経ちました。学部生のときに看護研究に出会い、大学院生の頃からは「高齢者のドライス

キンに対する保湿ケア」をテーマに研究を続けています。一緒に研究したい方、研究に興味がある方はぜひお声掛けください。また、学部生・大学院生ともに、「自分の考えをもち、人に伝えることのできる人」、「失敗を恐れずチャ

レンジできる人」になっていただきたいと考え日々サポートしております。本学の研究・教育に貢献できるよう努力してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



はら だ のり お
原田 範雄

- 所属・職名：内分泌・代謝内科学 教授
- 就任年月日：2024年5月1日
- 出身大学：奈良県立医科大学
- 就任前の職名：京都大学医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学 准教授
- 趣味・特技：サイクリング

内科学（3）から分離・独立して開設された内分泌・代謝内科学の教授を2024年5月1日に拝命しました。私は兵庫県出身で、1996年に奈良県立医科大学を卒業しました。愛知県の病院で内科研修医、内科医として勤務後、2003

年より京都大学大学院医学研究科に入學、大学院修了後は同大学病院で勤務していました。我々の分野は、糖尿病や肥満症、脂質異常症といったcommon diseaseから内分泌の希少疾患まで、多岐に渡ります。代謝疾患では様々な合併

症、内分泌疾患では多彩な臨床症状を呈します。患者さんの状態を把握して診断・治療をじっくり考えて進めていくことが、当科の特徴となります。興味がある学生さんは、ぜひお声がけください。今後ともよろしくお願いいたします。



ひら い たか はる
平井 孝治

○所属・職名：看護学講座 精神看護学 講師
○就任年月日：2024年11月15日
○出身高校：富山県立魚津高等学校
○出身大学：新潟医療福祉大学
○就任前の職名：精神看護学 助教
○趣味・特技：洋服、お酒、怖い話

2024年6月1日付で精神看護学分野の講師を拝命いたしました。地元は富山、そのあと新潟や東京で過ごし、福井に住み始めてからは早7年が経ちました。福井で生まれた子どもたちはいつの間にか、親である私と妻が話す

ことのできない福井弁で会話をするようになり、我が家もすっかり福井に染まったなあとこの頃です。専門は精神看護で、特に発達障害や摂食障害の子どもに関わる研究をすすめています。研究で得られた知見を社会へ還元

し、教育として学生の皆さまに貢献できるよう精進してまいります。



なか い くに ひろ
中井 國博

○所属・職名：形成外科学 教授
○就任年月日：2024年8月1日
○出身高校：東大寺学園高校
○出身大学：大阪大学
○就任前の職名：准教授
○趣味・特技：睡眠

1970年万博の年に奈良に生まれ、高校までは奈良公園で鹿とたわむれて育ち、大学からはバブルで熱狂の都会にひかれて大阪に向かいました。2013年福井大学医学部附属病院の形成外科新設に伴い診療科長として赴任しました。2024年福井大学医学部の形成外科

学新設に伴い教授担当となり再スタートとなります。形成外科では頭のとっぺんから足の先まで体の表面に生じる変形・欠損・異常に対して、形態面に配慮しながら治療を行うことで日常生活の向上を目指しています。様々なご希望やご意見をいただく中で鍛錬され

洗練されて、治療の結果が格段に向上しています。それに伴い形成外科を志す若手医師も増えてきて、診療科全体が活気づいています。今後ますます発展させてまいりますので、ご遠慮なくご相談してください。



えの もと まさと
榎本 将人

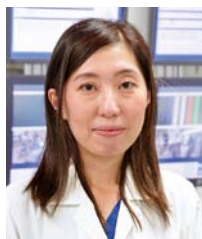
○所属・職名：血管統御学分野 生体制御学ユニット 特命教授
○就任年月日：2024年11月1日
○出身高校：私立千葉英和高等学校（千葉県）
○出身大学：北里大学
○就任前の職名：京都大学大学院生命科学研究科 助教
○趣味・特技：スポーツ鑑賞、漫画、お酒

2024年11月1日付で血管統御学分野 生体制御学ユニットの特命教授を拝命しました榎本と申します。

出身大学の北里大学理学部では化学を専攻し、大学院修士課程・博士課程では生化学と細胞生物学を学びました。2010年に名古屋大学大学院医学系研

究科で博士号を取得して以降、遺伝学を用いてがんと再生をテーマに研究を進めてきました。このように研究手法をコロコロと変えておりますが、この経験により様々な視点から生命現象を捉えることができることが強みの1つです。

これまでの基礎研究で培った経験やサイエンスの“おもしろさ”や“たのしさ”を伝えながら、基礎と臨床の両方で活躍できる“二刀流”の研究者・医師の育成に努めていきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



まつ き ゆ か
松木 悠佳

- 所属・職名：福井大学学術研究院医学系部門医学領域器官制御医学講座
麻酔・蘇生学分野 教授
- 就任年月日：2025年1月1日
- 出身高校：藤島高校
- 出身大学：東京女子医科大学
- 就任前の職名：福井大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科 講師

令和7年1月1日付けで麻酔・蘇生学分野の教授を拝命いたしました。私が福井大学の麻酔科に入局した頃から、麻酔科医の不足は深刻な問題でした。これまで麻酔科医の生産性向上、患者さんの安全やQOL向上をめざし、口

ボット麻酔システムを開発してきました。そして、2023年に麻酔薬自動調節システムであるAsisTIVAが発売となりました。現在、輸液昇圧自動調節システムを開発中であり、医師主導治験を実施中です。いつでも、どこでも、誰にで

も、安定した質の良い麻酔を提供できるように頑張っていきたいと思います。ご指導宜しくお願い致します。



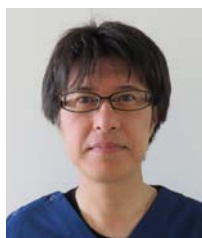
にし やま やす ひろ
西山 康裕

- 所属・職名：脳神経内科・教授
- 就任年月日：2025年1月1日
- 出身高校：麻布高校
- 出身大学：日本医科大学
- 就任前の職名：日本医科大学脳神経内科 准教授
- 趣味・特技：スポーツ観戦、スポーツ（球技）、美味しいものめぐり

令和7年1月1日付で、内科学IIから脳神経内科学分野の教授に就任いたしました西山康裕と申します。私は東京都大田区出身で、1996年に東京都文京区にあります日本医科大学を卒業いたしました。大学時代は硬式野球部に所

属し、クラブ活動に没頭しました。6年間で東医体の金・銀・銅メダルを獲得したのは良い思い出ですが、最後の6年生の夏が一回戦敗戦だったことは今でも悔しい思い出です。前職では脳卒中の基礎研究、臨床研究を積極的に行っ

てまいりました。福井大学、福井県のための診療・研究を進めてまいりますので、新生脳神経内科をよろしく願いいたします。



いけ だ ひろ ゆき
池田 裕之

- 所属・職名：循環器内科心臓血管病先進治療学 特命講師
- 就任年月日：2024年7月1日
- 出身高校：智弁学園和歌山高校
- 出身大学：福井大学
- 就任前の職名：循環器内科心臓血管病先進治療学 特命助教
- 趣味・特技：釣り

みなさま、こんにちは。循環器内科医の池田裕之です。気づけば医師になって22年目となりました。私が医師になった当時は、現在のような2年間の臨床研修制度はなく、卒業後はそのまま医局に入局するのが一般的でした。そのため、学生時代のうちに将来の専門を決めるの

が普通だったのです。そんな中で、私が循環器内科を選んだ理由は、病気の原因を探る“探偵”のような内科的アプローチと、カテーテル治療など非薬物的な治療を行う外科的な要素、その両方を兼ね備えていることに魅力を感じたからです。循環器内科を志すと言うと、よく「循

環器は大変だぞ」と言われました。確かに緊急対応が多く、体力的にもハードな場面は少なくありません。しかし、それ以上にやりがいがあり、日々の診療を楽しく続けられています。この選択は間違っていなかったと、今でも実感しています。

令和6年度学長表彰、医学部優秀学生表彰 >>>

福井大学では、学業成績の優秀者や、課外活動及び社会貢献活動において特に優秀な成績や功績をおさめたと認められる学生に対して、表彰を行っています。令和6年度は、下記の学生が表彰されました。

《学長表彰》

医学科／	あだち ゆう や 足立 悠哉	医学科において学業成績が特に優秀であったため
看護学科／	いわもと 岩本 まひろ	看護学科において学業成績が特に優秀であったため
医学系研究科修士課程／	に わ あきの 丹羽 昭乃	医学系研究科修士課程において学業成績が特に優秀であったため
医学系研究科博士課程／	ば ば なつ き 馬場 夏希	国内外の学会等で特に高く評価される研究業績を上げたため

《医学部 成績優秀学生表彰》

医学科／	あだち ゆう や まつ だ れ な きりゆう あい こ 足立 悠哉／松田 玲奈／桐生 愛子
看護学科／	いわもと おけたに せ な いしかわ あや の 岩本 まひろ／桶谷 聖奈／石川 綾乃



後列左から 河手さん、細江さん、山本さん
前列左から 桐生さん、松田さん、足立さん



左から 岩本さん、桶谷さん、石川さん

《医学部 優秀学生表彰》

医学科／	かわて けん たろう ほそ え なおい やまもと りょう た 河手 賢太郎／細江 尚唯／山本 良太
------	--

課外活動又は社会活動における優秀学生

令和6年度卒業生からの寄贈品 >>>

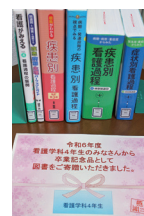
今年度卒業生から、以下の寄贈をいただきました。
ありがとうございました。大切に活用させていただきます。

医学科6年次生

- 一、『病気がみえるvol.1-15』一式【予定】
…西7階MILC Active Learning Hubに設置【予定】

看護学科4年次生

- 一、書籍6冊…福井大学医学図書館に寄贈
- 一、福井大学基金 高度専門職業人育成・研究支援事業へのご寄付



令和6年度卓越した学生に対する優秀学生奨励賞 >>>

福大ビジョン2040に掲げる「卓越高度専門職業人の育成」の推進を目的として、令和6年度から卓越した学生に対する優秀学生奨励賞が設けられました。対象は医学科5年次生、看護学科3年次生です。令和6年度は医学部では医学科10名、看護学科7名が学部優秀学生として表彰されました。



医学部附属病院だより >>> 学部学生に向けた情報を紹介します

福井大学医学部附属病院臨床教育研修センター独自の「Instagram」アカウントを開設

令和6年度から、福井大学医学部附属病院臨床教育研修センター独自の「Instagram」アカウントを開設しました。

当センターではこれまで、施設の紹介やセミナーの様子等について情報発信をしてきました。今後は、当院の雰囲気や実際に研修を行っている初期研修医の様子など、Instagramならではの日常風景を発信していきたいと思います。



【福井大学医学部附属病院臨床教育研修センター公式Instagram】

https://www.instagram.com/fukudai_sotsugo_kensyu/

医学科5・6年生に対して「リアルを知ろう-良医へのマイルストーン」学内講演会を実施

医学科5・6年生を対象に「リアルを知ろう-良医へのマイルストーン」と題して、慶應義塾大学常任理事・医学部教授の北川雄光先生をお招きし、学内講演会を開催しました。講演会では、本院特有のcommon disease から高難度疾患まで経験できる研修プログラムや、技術向上のトレーニングに最適な本院のシミュレーションセンター等、充実した研修環境について触れながら出身大学で初期臨床研修を受けることのメリットや重要性についてお話をいただき、当日は105名の学生が参加した有意義な講演会となりました。



慶應義塾大学常任理事
医学部教授 北川雄光先生



医学科5・6年生対象
「リアルを知ろう-
良医へのマイルストーン」

医学科5年生に対して「リアルを知ろう-国試対策から臨床まで」学内説明会実施

昨年度に引き続き、医学科5年生を対象に「リアルを知ろう-国試対策から臨床まで」と題して、計13回にわたりランチョン形式による学内説明会を実施しました。若手医師で結成された「Under40club」所属医師から、診療科の特徴や雰囲気、国試対策について講義を行い、本院の初期研修の内容をイメージしてもらう貴重な説明会となりました。今後も学生の皆さんの要望に応じて、当院の研修内容について知る機会、先輩医師とコミュニケーションを取る機会を増やしていきたいと思います。



医学科5年生対象
「リアルを知ろう-
国試対策から臨床まで」



福井県臨床研修病院見学バスツアーへの参画「借上宿舎内覧会」を実施

令和6年11月に福井県が企画した県内7つの臨床研修病院を回る病院見学バスツアーへ参画し、当院は、研修医用借上宿舎「Court FRe（コートエフレ）」の内覧会を実施しました。「Court FRe（コートエフレ）」は、当院で初期研修医として勤務する場合に入居可能な宿舎となっており、家賃2万円/月で入居できます。福井大学医学部附属病院に徒歩で通勤できる立地条件に加え、スーパーや飲食店が近くにあり、生活環境も整っています。このような宿舎があることは、当院で初期研修を行う大きなメリットとなっています。



研修医用借上宿舎
「Court FRe（コートエフレ）」



「英国の医療と高度実践看護師研修」の再開について

コミュニティ看護学 講師 あおき みく 青木 未来



この度、2024年9月に英国の医療と高度実践看護師研修の再開に向けた打ち合わせに英国ロンドンおよびレスターを訪問いたしました。看護学科では平成22年よりこの研修を行っています、2019年9月の渡英の後、COVID-19感染拡大の影響を受け、再開のときを待っている状況でした。私は2019年4月に福井大学に着任しましたが、いつかこの研修に同行させていただくことを目標に細々とではありますが、英会話のトレーニングを続けてまいりました。研修の再開に携わることができ、大変嬉しく思っております。研修の内容と、研修に対する私の思いをご紹介させていただきます。ぜひ多くの皆さんと研修に出かけたいと思います。

この研修では、日本以外の国における看護実践と国際的看護活動を学ぶ目的でプログラムが組まれています。これまで、レスター大学附属グレンフィールド病院、バーミンガム市立大学、セント・クリストファー・ホスピスなどの見学を通して、高度実践看護師および資格認定看護師の役割と、ケアが提供されている専門分野

を学ぶことができました。今回の研修再開にあたり、新たにアッシュフィールドアカデミー（特別障害者支援学校）見学、レスター大学医学生とのディスカッションやチャリティイベント、そしてレスター・ロンドンでの文化体験など様々な魅力的なプログラムの追加を検討しているところです。

その中でも、今回訪れたアッシュフィールドアカデミーについて少しご紹介いたします。こちらの施設では、障害をもち、さまざまな医療ケアを必要とする4歳から19歳の子どもの生活支援を受けながら学んでいます。実際にケアを提供している医療職の講義を受けるとともに、施設を見学することで障害をもつ子どもへの教育と生活支援の実践について学ぶことができます。また、子どもの両親や兄弟等への支援や地域住民への働きかけ、外部見学者の受け入れ態勢から、共生社会のための取り組みについて考える機会となればと考えています。

ここまで、医療に関するプログラム内容についてほんの一部をご紹介してきましたが、私は英国研修で得られるものが大きくはもう一つあると考えています。こ

の文章を読まれている皆さまは、海外旅行のご経験はおありでしょうか？もしくは海外で生活なさったことがおありでしょうか？文化・言語・地形・気候…普段生活している日本とは異なる世界で過ごす経験は、短期間であっても大きな刺激を受け、人によっては人生が変わるポイントとなる貴重な経験です。私事ですが、私はこの英国訪問前の2024年4-5月にも、英国を一人で訪れました。電車・バスに乗ること、お店で買い物をすること、日本ではごく当たり前にしていることに対し、文化・言語の違う場所では大変神経を使います。その分だけ、達成感が大きいのです。一生懸命練習して現地で話した英語が通じたとき、相手が言っていることが理解できたとき、そしてコミュニケーションのキャッチボールが成立したとき。かけがえのない素敵な思い出と、良い経験として皆さんの中に蓄積されていくことと思います。ぜひ学生のうちにこの経験をし、その後の人生に活かして欲しいというのが、私の願いです。研修に興味のある方は、ぜひお気軽に声をかけてください。



レスター大学附属病院正面玄関
(写真中央)



アッシュフィールドアカデミー
(写真右)



レスター駅構内



Community Nurse (写真右) に英国の医療事情についてお話を聞かせていただきました。

アメリカ フィンドレー大学への留学

私は2023年8月から2024年5月の約9か月間、フィンドレー大学・福井県奨学生制度を利用し、アメリカのオハイオ州にあるフィンドレー大学に留学していました。

アメリカに住んでいた両親をはじめ海外経験のある人々に囲まれて育ち、幼いころから海外での生活に憧れを持っていました。中学3年生でオーストラリアに2週間留学した際、新しい世界に目が開かれたとともに、2週間という期間は現地の人々の生活を本当の意味で体験するには短すぎると感じ、大学では長期の留学をしようと決意しました。

アメリカで行われている授業に興味があったこと、また現地の学生と共に授業を受けたことから、学部コースを選択し、宗教学、護身術、スピーチ、日本文化など、専門に関係なく興味のある授業を受講しました。また、ボランティア活動、病院見学、旅行など、授業外でも様々な体験をしました。アメリカでは大学が学生に頻繁にボランティア活動を提供していたり、地域にボランティア団体が多くあったりと、ボランティア文化が深く根付いていることが感じられました。

アメリカで過ごした日々はチャレンジの連続でした。授業に出る、買い物をする、友達と遊ぶ、そんな何気ない一つ一つのことに緊張し、つまづく毎日でした。しかしそんな中だったからこそ、

多くのやさしさに気がつくことができました。多くの人が拙い英語で話す私を理解しようと熱心に耳を傾けてくれ、心が通じ合ったと感じる瞬間が何度もありました。留学先での人々との出会いが、そんなやさしさを持ちたい、他者を理解しようと努められる人でありたいと思わせてくれました。

一方、違う文化に触れた時、はじめは理解できないことも多くありました。しかし見方を変えて、なぜそこに違和感をもったのかを考えるようになりました。私の考え方、行動は無意識に日本の文化や育った環境に影響されています。それはいいこともありますが、逆に型にはまったものの見

方をしてしまったり、偏見を生み出したりすることもあります。無意識を意識するようになることで、狭い考え方から少しでも抜け出すことができたように思います。

他者を思いやること、広い視野を持つことは、将来医師として働く上で、チーム医療を実践し、患者さんを理解することに大いに役立つと思います。まだまだ未熟ですが、これからたくさんの人々と出会い、目で見え経験することで、私を救ってくれた大きなやさしさを周囲の人を包むことができるような医師になりたいです。



なが い
医学科 永井 みちる

～福祉国家の実際～

デンマーク・オールボー大学病院での臨床実習について

私は昨年8月、国際医学生連盟の交換留学プログラムに参加し、1か月間デンマーク王国オールボー大学病院循環器内科において臨床実習を行いました。オールボーはデンマーク北部に位置する人口約12万人の都市で、当病院は地域最大の病院です。海外の臨床現場に一度触れてみたという思いから申し込みました。

実習では循環器外来とカテーテルを用いた不整脈治療を見学しました。同病院は総合診療医からの完全紹介制で、患者さん一人一人に時間をかけて診察・処置を行っていました。待合室での握手から診察が始まり、患者医師間の信頼関係の構築を重視している点が印象的でした。外来では患者さんの病歴に関連したレクチャーを受けたり心エコーの実践を体験させていただいたり、大変有意義な時間でした。また、カテーテル治療の見学では、デンマーク心不全ガイドラインの執筆者の一人であるLarsen先生に、オペ中にも関わらず手技の流れやtipsを詳しく解説いただき、循環器内科医を志望する私にとって貴重な経験となりました。驚いたのは、日本以上に看護師の方々の権限が強い点です。具体的には、カ

テーテルの挿入・静脈麻酔の投与などの医行為を、医師の指示下であれば制限なく行うことができます。また、電気生理学についての知識も非常に豊富で、看護師の方々には機器のモニター表示や心内心電図について丁寧に指導いただきました。

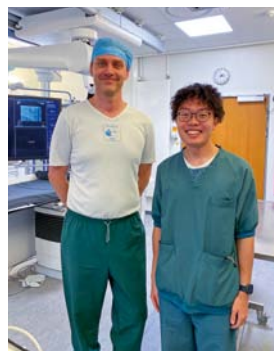
さらに、医療者間の関係がフラットで、経験年数問わずお互いをファーストネームで呼び合い、上下関係よりも互いへのリスペクトを重視する文化が根強いように感じました。留学生である私にもフランクにかつ熱意を持ってご指導いただき、スタッフの皆さんには心から感謝しています。

北欧諸国は福祉国家とも言われるように、国民は福祉サービスを無料で受けることができ、病院に会計窓口がないのが衝撃でした。また、西欧は医療先進国のイメージがありますが、意外にもデンマークでは新しい治療法やデバイスの導入には慎重な傾向があり、他のEU諸国で承認されている治療法であったとしても、デンマーク国内で治療効果があるかどうかと判断されない限り保険適応にはならないケースが多いことを知りました。さらに、大学病院の医師と製薬会社との

接触は制限され、贈答品の受け取りは禁止されていました。スタッフの方々が自国の医療保険制度を誇りに思い、守ろうとする姿勢に感銘を受けました。

このプログラムを通して、海外の医療現場に触れ、客観的な目で日本の医療について考える機会に身を置く重要性を感じました。医師として研鑽を積む上で、日本であれ海外であれ、臆することなく貪欲に学ぶ姿勢を持ちつづけたしたいと思います。

みやがわ こたろう
医学科5年 宮川 虎太郎
※参加当事の学年です。



令和7年度 福井大学医学部授業日程 >>>

from 学務課

■変更となる可能性があります。ホームページ等にて随時情報を発信しますので、ご確認ください。

※夏季・冬季・春季休業日は、学科、学年によって異なります。必ず授業時間割で確認してください。

4月

- 1日～ 医学科5年実習(予定)
- 6日 入学式
- 7日～8日 新入生オリエンテーション
- 9日 前期授業開始
- 9日～15日 履修科目登録期間
- 16日～22日 登録確認・修正期間
- 17日 新入生研修1日目
- 25日 新入生研修2日目

5月

- 7日～ 医学科6年実習(予定)
- 7日～24日 看護学科4年実習(予定)
- 16日 納骨式(医学科2年)、動物慰霊祭
- 17日 合同慰霊祭・御遺骨返還式(医・看護2年)
- 5月下旬～ 看護学科3年実習(予定)
- 3月上旬

7月

- 7月上旬 医学科6年 医師国家試験予備校模試(予定)
- 7月下旬 医学科4年 共用試験CBT予備校模試(予定)

8月

- 8月上旬 看護学科1年実習(予定)
- 6日～9月末 夏季休業 ※
- 8日 オープンキャンパス
- 13日～15日 大学一斉休業
- 8月上旬～下旬 西医休(未定)

9月

- 9月中旬 医学科4年 共用試験CBTプレテスト(予定)
- 20日 医学科6年 Post-CC OSCE(予定)
- 30日 学位授与式(9月卒業生)
- 30日～10月1日 医学科6年 卒業時学科試験(第1回)
- 9月下旬 医学科5年 医師国家試験予備校模試(予定)

10月

- 1日 秋季入学式(大学院)、後期授業開始
- 1日～7日 履修科目登録期間
- 8日～14日 登録確認・修正期間
- 2日～3日 医学科4年 共用試験CBT
- 12日～13日 晩祭(10日 晩祭準備のため休講)
- 14日 晩祭後始末のため医学科3年のみ午前休講
- 18日 医学科6年Post-CC OSCE(予備日・追再試験)
- 27日～28日 医学科6年 卒業時学科試験(第2回)
- 10月中 看護学教育評価受審

11月

- 8日 医学科4年 共用試験OSCE
- 14日 医学科4年 共用試験CBT(予備日・追再試験)
- 29日 医学科4年 共用試験OSCE(予備日・追再試験)

12月

- 11日 医学科4年 共用試験CBT(臨時再試験・予定)
- 18日～19日 医学科6年 卒業時学科試験(第3回)
- 26日～1月3日 冬季休業*

1月

- 13日～ 医学科4年実習(予定)
- 16日 大学入学共通テスト準備のため休講
- 17日～18日 大学入学共通テスト(16～18日入構禁止)

2月

- 上旬 看護学科2年実習(予定)
- 6日～ 春季休業*
- 24日 入学試験[前期日程] 準備(24日～26日入構禁止)
- 25日～26日 入学試験[前期日程]

3月

- 11日 入学試験[後期日程] 準備(11日～12日入構禁止)
- 12日 入学試験[後期日程]
- 23日 学位記授与式

部活動・サークル紹介

男子硬式テニス部 >>>

男子硬式テニス部では、西医体優勝、全学とのリーグ戦での勝利を目標に、週3回（火・木・土）、一日3時間のペースで活動しています！またテニスは個人戦なので各々が目標を設定し、それに向けて練習を行っています。コートが9面あり、部活がない日でも自主練が思う存分にできます。また、練習では先輩からアドバイスを受けて初心者からでも上達できます！部員数は多くないですが、その分チームの団結力はハンパないです！

勉強面では、福井は冬に雪が降るのでオフシーズンと活動時のメリハリがあり、冬の試験が忙しい時期などは勉強に集中することができます！

普段は男女別々で活動していますが、肝試し、ミックスダブルス、暁祭などのイベントでは男女一緒に活動しています！初心者もたくさんいて、テニスが好きな方ならだれでも大歓迎です！

僕たちとともに目標に向かってアツくなれる方を待ってます!!!!

そんな方はぜひ試合や練習に遊びに来てください！



女子硬式テニス部 >>>

こんにちは、女子硬式テニス部です！私たちは松岡キャンパステニスコートで週3回練習をしています。練習の時はしっかりと練習に励み、終われば部員全員でふざけあったりとメリハリのついた部活です。正直言って、とても楽しい部活です！

テニス経験者はもちろん、初心者も大歓迎です！部員の中でも初心者が半数を占めています！

イベントは男子部と一緒にいきます。部内MIXダブルス大会のあとはみんなで海に行き、BBQ！3月にはみんなでユニバにも行きます。他にも肝試しやハロウィンなどイベントは盛りだくさん！

女子硬式テニス部の魅力はメリハリのついた部活であることと、先輩後輩関係なく、とてつもなく仲の良いところです！くずりゅうを見て興味を持ってくださった方は、是非1度遊びに来て見てくださいね！部員一同お待ちしております。

ソフトテニス部 >>>

こんにちは！福井大学医学部ソフトテニス部です。私たちは火・木・土の週3で大学横のテニスコートで練習しています。部員は約80人とトップクラスの多さです！大会は主に、5月、7月、8月、11月にありどれも盛り上がる大会です。7、11月に行われる東海大会では、看護学科と共に同じ大会に臨めるので、部員同士の絆をより深めることが出来ます。1年で最も規模の大きい大会が8月にある西医体です。これは西日本の医学科の大学が集まる大会になります。男子は約400ペア、女子は約200ペアも出場します。これほどの規模の大会を経験したことのある人はいないのではないのでしょうか？大盛り上がりの大会で見ているだけでも楽しいです！この大会では先輩たちとの仲を深める絶好の機会と、普段関われない学年との絡みは刺激的で非常に楽しいです。ぜひ、ソフトテニス部におこしください！

卓球部 >>>

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。卓球部です！

現在、部員は医学科看護科合わせて約40人で、毎週火、金、土の週3回活動しています。参加は強制ではないので、試験前に勉強を優先することも可能です。気軽に卓球したい人から、バリバリ練習したい人まで様々な部員がいます。卓球は大学はじめてという人でも、先輩が丁寧に楽しく教えてくれるので安心してください！

大会は、6月の北4（北陸の4大学で行う大会）、8月の西医体、3月の西医歯薬（西日本の医薬系の学生が集まる大会）などに参加しています。他県に遠征しての試合があるときは、みんなで観光したりおいしいものを食べたりと楽しいことがたくさんあります。また、部活外でもスノーボードやボードゲーム、釣りなどイベントが盛りだくさんです。

皆さんも卓球部に入って大学生活をより楽しいものにしませんか？入部お待ちしております！



剣道部 >>>

こんにちは！私たちは火、木、土の週3日、福井県立大学剣道部と合同で活動しています。大学や男女、先輩後輩の垣根がなく、とても仲の良い部活です。稽古は2時間で集中して取り組み、それ以外では部飯やバーベキュー、観光などを楽しんでいます。

試験前の休みの融通も利き、イベントなどの参加も自由なので、自分自身に合わせた活動をすることができます。

経験者はもちろん、初心者、マネージャー大歓迎です！大学の剣道部はそれぞれが目的を持って活動しており、小中高の部活とは雰囲気が違ってとても楽しいですよ！

新品の防具の貸し出しをしているので、初心者や防具を捨ててしまった方でも大丈夫！部員の中には、大学から剣道を始めた人や小学生、中学生以来の人、剣道のことを全く知らなかったマネージャーもいます。剣道は敷居が高いイメージかもしれませんが、実は運動神経の良し悪しに左右されにくく、大人になってから始める人も多い競技です。始める時期、ブランク、関係ありません！私たちがサポートするので一歩踏み出してみませんか？

剣道部一同、皆さんをお待ちしております！！

バドミントン部 >>>

新入生の皆さんご入学おめでとうございます！

私たちバドミントン部は月水土の週3回、松岡キャンパスの体育館で練習を行っています。

部員は82名おり、医学部最大規模の部活動で学年や男女問わず仲良く活動しています！

2024年の西医体では、女子団体戦優勝、男子団体戦4位、女子シングルス優勝、女子ダブルス準優勝と輝かしい成績を収めています！一方で今までバドミントンをした事がない初心者の人が過半数で、どのレベルの人でも楽しめる部活になっています。

また交流戦やイベントがたくさんあるのも魅力です。遠征に行って試合終わりにみんなで遊んでから帰ったり打ち上げをしたり、夏には海に行ったりBBQをして冬にはコテージを借りてみんなで泊まったりしています！

是非一度バドミントン部に遊びに来て、部活の雰囲気を見に来てください！！



男子バスケットボール部 >>>

一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。男子バスケットボール部は現役プレイヤー22人、マネージャー7人で活動しています。週に3回（月、水、金or土）に活動しており、西医体で優勝することを目標として日々練習に励んでいます。プレイヤーは経験者が多いですが、大学から始めた人も多く、経験者に混じり試合で活躍しています。

また男子バスケ部では、バスケット以外にもBBQや忘年会、追いコンなどさまざまなイベントがあり、また練習試合や大会の遠征先では観光もしています。新歓でもさまざまなイベントをしているので楽しみにしておいてください！

私たちは真剣に練習しているからこそ、チームとしての絆が強い部活だと思います。上下間もとても仲が良く、チーム全員が意見しやすい雰囲気を目指しています。

プレイヤー、マネージャー共に医学科看護科問わず募集しておりますのでぜひ一度、気軽に遊びに来てください！

【昨年度成績】 ・近畿中国四国医科学学生バスケットボール大会 優勝
・北陸地区国立大学体育大会 準優勝
・近畿医科歯科薬科学学生バスケットボール大会 準優勝



女子バスケットボール部 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

私たち、女子バスケットボール部は、プレイヤー12人、マネージャー1名の計13人で活動しています。みんなで楽しく、笑顔でバスケットをすることをモットーに、経験者、初心者関係なく、部員全員で頑張っている部活です。大会で勝つことができるように、日々の練習や他校と練習試合をしながら、スキルアップを目指しています。

女子バスケ部は、バスケットだけでなく、いちご狩りやBBQ、大会後の観光、忘年会や追いコンなどたくさんのイベントがあり、どれも全力で楽しんでいます。キャンパスライフの輝かしい思い出になること間違いなし！皆さん、ぜひ女子バスケットボール部へ！

女子バスケットボール部一同、心よりお待ちしております。



準硬式野球部 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！ここでは、私たちの活動についてご紹介させていただきます。

準硬式野球部は、プレイヤー28人、マネージャー9人で毎週火・木・土の週3回活動しています。大きな大会は北信越の全学が集う春季、秋季大会、そして8月の西日本医科学生総合体育大会（西医体）の3つであり、これらに照準を合わせて日々練習しています。2024年に行われた秋季大会では、見事優勝することができました！

冬の期間は週2回の練習となり、テストの多い期間は、勉強に励むため練習を休むことができる制度も設けております。そのため勉強との両立が可能で、バイトや趣味に打ち込むことができます。

また、練習や試合に全力で打ち込みながらも、海水浴や球技大会、BBQ、スノボなどのイベントも盛んです！ 晩祭にも積極的に参加し、メリハリをつけて楽しく部活動に取り組んでいます。ぜひ一度練習に遊びに来てください！



伝統空手道部 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！伝統空手道部は現在8名が所属し、月・水・土の週3日で活動しています。“伝統空手”と聞くと堅苦しく感じるかもしれませんが、それは気のせい입니다。というのも部員の大半は大学から空手を始めた初心者なため、誰でも気軽に始めることができます。さらに空手は個人競技なので、バイト・車校・試験など学業優先で活動できます。伝統空手には組手と形の2つの種目がありますが、どちらかor両方でも、そこはご自由にどうぞ。黒帯を取りたい、試合に出場したい、いやいや、とにかく運動したい！など部員達は様々な理由で練習に励んでいます。XやInstagramに練習中の写真や動画があるので、ぜひチェックしてみてください。武道場でお待ちしています！

【X】@fukuimed_karate 【Instagram】fukuimed.karate



柔道部 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！柔道部です！

柔道部は毎週火曜日、木曜日、土曜日の3日間、場所は武道場にて稽古をしています。部員数は6名ほどですが、そのためにアットホームな雰囲気であり、先輩とも分け隔てなく和気藹々と楽しく稽古することができています！柔道と聞くと“怖い”などのイメージがあったりすると思いますが、実際はそうでもなく、女子部員や大学から柔道を始めた人もいますので、経験者や未経験者を問わずに、興味があればぜひ見に来てください！また、先輩後輩の仲がいたために、部活動だけでなく勉強においても親身になって相談に乗ってくれたり、テストの前にはしっかりと部活動の休みをもらえたりと、勉強面でも無理なく部活動を続けることができます。男女・経験問わず、少しでも柔道に興味を持ってもらえたらと思います！気軽に見学や遊びに来てください！部員一同心よりお待ちしております！！

ラグビー部 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる大学生活に期待や不安を感じている事と思います。福井大学医学部ではさまざまな部活やサークルが活動しています。部活やサークルに所属することで先輩後輩含め交友関係が生まれ、勉強だけでなくこういった活動に打ち込む事でより楽しく充実した学生生活を送ることができます。この場を借りてラグビー部についての紹介をさせていただきたいと思います。

ラグビー部は現在37人で活動しており、部員のほとんどは大学からの初心者です。練習は基本、火・木・土の週3回行っています。夏には西医体という大きな大会があり優勝を目指し、日々励んでいます。試験の多い冬場にはオフ期間もあり、勉強の負担にもならず進級間違いなしです。ラグビー部は部活以外にも夏には海へ行ったり、バーベキューをしたりと楽しいイベントも特徴です。2019年に日本で開催されたラグビーワールドカップでは日本中が大熱狂の渦に巻き込まれ、ラグビーブームが沸き起こりました。その活躍ぶりは皆さんの耳にも入ったのではないのでしょうか。そしてついに今年はワールドカップがフランスで開催されます。今、日本で最もアツいスポーツであるラグビーに、プレイヤー・マネージャーとして一緒に触れてみませんか？興味があってもなくても新入生の方は気軽にぜひ一度遊びに来てください！

男子バレーボール部 >>>

こんにちは！男子バレーボール部です！バレーボールは、テレビの試合中継や漫画、アニメの影響で人気沸騰中の今とてもアツいスポーツです。そのいちばんの魅力は、チーム全員が「自分たちのコート内にはボールを落とさせない」という意志を共有し、1つのボールを必死に追いかけて仲間につないでいくこと。一人一人の強い意志は、観客をも巻き込んで会場全体を熱く盛り上げていきます。この一体感を一度経験してしまえば、その虜になること間違いなしです！私たちは、昨年度夏に行われた西医大で優勝し、西医大連覇を目標に掲げ日々練習に励んでいます。プレーヤーの半分以上が大学からバレーボールを始めた初心者ですが、試合では経験者に見劣りしないほど活躍しています。大学で新しいスポーツを始めたいという初心者の方も大歓迎！アツい仲間が欲しい！スポーツで結果を残したい！イベントで楽しく盛り上がりたい！あなたの想いを叶えられる男子バレー部へぜひ！プレーヤーはもちろん、マネージャーも大募集中です！！



女子バレーボール部 >>>

新入生の皆さん、こんにちは！女子バレーボール部です！

私たちは火・木・土の週3回、医大体育館や外部の体育館で練習をしています。みんなのびのび、わいわい楽しく練習しています！経験者だけでなく、大学からバレーボールを始めた部員も多く活躍しています！大会でより良い成績を残すことを目指して部員全員で意見を出し合いながら日々の練習に励んでいます。昨年度は秋季近畿医療大会にて第3位という成績をおさめることができました！勉強が大変な時期も、部活でみんなと練習することがとても良いリフレッシュになっています！

バレーボールに興味のある方！勉強も運動も頑張りたい方！わいわい楽しく部活に参加したい方！ぜひ一度女子バレーボール部に遊びに来てください！！マネージャーも大募集しています！新歓で皆さんに会えるのを部員一同楽しみにしています！

[X] @fukuimedvolley [Instagram] fukuimedvolley



サッカー部 >>>

皆さん初めまして、福井大学医学部サッカー部です！私たちは現在プレーヤー22名、マネージャー11名の計33名で、西医体優勝を目標に掲げ、火・木・土の週3日間活動しています。練習メニューは自分たちで考え、真面目に一生懸命取り組んでいます。大変で辛い時もありますが、それを乗り越えたときの達成感や楽しさはひとしおです！今シーズンはコロナの影響もあり、中止になった大会もありますが、ここからは対戦成績について紹介します。今シーズンは東海医歯薬大会準優勝、昨シーズンは北陸4校戦優勝、近畿医歯薬大会3位、東海医歯薬大会3位、天皇杯3回戦進出となっています。また、私たちの部活は先輩後輩の仲も良く、部活以外にも海やBBQ、スノボなどの活動もしています。経験者、未経験者ともに大歓迎です！少しでも興味ある方は遊びに来て下さい！個性豊かな部員がお待ちしております！XやInstagramなどでも活動内容を報告しているので、そちらもよろしければご覧ください！

陸上競技部 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！！

我々陸上部は週に3回、火・木・土曜日に活動しています。この陸上部の最大の特徴は、なんといっても競技ブロックとジョグブロックに分かれて活動していること！

競技ブロックは皆さんが陸上部と聞いて想像するような活動をしています。短距離と長距離に分かれて練習しており、初心者から経験者、果ては全国大会を目指すような人まで、いろいろな人が自分の目標に向かって頑張っています。

ジョグブロックはその名の通り、学校の周りや公園をゆっくりと走るという活動が中心です！走るのが好きだけどゆるくやりたい人、運動不足を解消したい人、兼部したい人など、こちらも色々な人が所属しています。

競技ブロックのマネージャー也大募集です！！

日々の活動は競技、ジョグで別ですが、バーベキューやマラソン大会など様々なイベントと一緒に楽しくやっています。是非一度陸上部に遊びにきてね～^^



競技スキー部 >>>

新入生の皆さん、入学おめでとうございます！こんにちは、競技スキー部です。競技スキー部では4月～11月はオフシーズンでゆるく楽しくインラインスケートや陸上トレーニングを行い、12月にシーズンインし、3月までは休日をメインにコーチや他大学のチームメイトとともにスキーの練習をしています。競技スキーにはアルペン部門とクロスカントリー部門があります。

アルペンスキーは斜面に立てられた旗門に沿って滑り降りてそのタイムを競うスポーツで、早く滑り降りる爽快感は格別です！クロスカントリースキーは平地を進んだり、急な坂を登ったり、多様なコースを駆け抜け、そのスピードを競うスポーツです。

競技スキー部の魅力は文京キャンパスの部員や富山大学、金沢大学の方々と一緒に合宿をするため、他大学との交流が盛んなところです。初心者から始めた部員は他大学にも多く西医体での好成績を目指して全部で30～40人が集まって合宿を行うので毎日楽しく、充実した練習ができます！

せっかく雪国の大学に入学したからには一緒にスキーをしませんか？みなさんと一緒に部活動ができる日を部員一同楽しみにしています！

水泳部 >>>

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます！水泳部の活動は火金の週2回、メインの大会である西医体と西コメに向けて練習をしています。昨年は西医体水泳部女子部門総合優勝、男子、女子個人入賞がたくさんありました！水泳部ではありますが泳ぐだけではなく！月1で球技をしたり、冬にはみんなでスキーやスノボをしに行ったりもしています！水泳部の一番の魅力は部活の雰囲気が良いところです。1～6年生まで部員全員がとても仲良しなので、楽しい雰囲気練習を頑張ることができます！個人的には練習の合間にみんなでわちゃわちゃしゃべっている時間がすごく楽しいです。楽しそうだけど泳げない...という方も大丈夫です！先輩方が優しく、楽しく泳ぎ方をおしえてくれます！部員の半数以上は初心者ですが、なぜかみんな夏ごろには泳げるようになっています。不思議ですよ！初心者から経験者まで大歓迎です！ぜひ水泳部に遊びに来てください！部員一同お待ちしております！



ゴルフ部 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

ゴルフ部ではほとんどの学生が大学からゴルフを始めており、部員は自分のペースでゴルフを楽しんでいます。ゴルフクラブの握り方からラウンドマナーまで、先輩が丁寧に教えてくれます！

活動は毎週月曜日と水曜日に打ちっぱなしで練習し、休日に希望者でラウンドに行っています。夏には、西医大、合宿、秋には部内コンペや晩祭など楽しいイベントがたくさんあります！

ゴルフの醍醐味はやはりラウンドです！ラウンドでは、春夏秋冬それぞれの自然を見ながら、広大なゴルフ場で楽しい仲間と勉強のリフレッシュをすることができます！ゴルフ場でナイスショットした瞬間は最高です！

大会に出てバリバリゴルフしたい人、自然の中で楽しく運動したい人などゴルフに少しでも興味がある人は大歓迎です！新歓では打ちっぱなしを体験してもらえます。ぜひ一度ゴルフ部に遊びにきてください！部員一同お待ちしております！



弓道部 >>>

新入生の皆さんご入学おめでとうございます！福井大学医学部弓道部は医学科19人（男子8人／女子11人）と看護科4人（女子4人）で活動しています。活動場所は松岡キャンパス敷地内にある弓道場で、火曜、木曜、土曜の週3回練習をしています。弓道部の一番の魅力は学年分け隔てなく仲の良いところです！弓道と聞くと「上下関係が厳しそう…」といったイメージを持つ方も多いと思いますが、普段の練習では先輩後輩関係なく互いに指導し合い和気あいあいと弓道に取り組んでいます。そんな弓道部ですが、何と大学から弓道を始めた部員が8割以上で、今まで運動経験がなかった人でもとっっても始めやすいですよ！少しでも興味があればぜひ一度見学に来てくださいね。最後に、弓道はひたすら自分と向き合い、自分と戦っていく武道です。一生に一度の大学生活、私たちと一緒に未知なる自分を「探弓」してみませんか。



ハンドボール部 >>>

こんにちは！ハンドボールというスポーツをご存じでしょうか？名前は聞いたことがあっても、具体的にどんな競技なのか知っている方はあまり多くないと思います。ハンドボールは攻守の切り換えが速く、激しい接触プレイがあり、また高度な戦術も要求されるカッコいいスポーツです！ハンドボール部では西医体優勝を目標に、プレイヤー、マネージャーが一丸となって日々熱心に練習に取り組んでいます。練習だけでなく、夏には海に行ったり、クリスマスにはパーティーをしたりと年中行事・季節のイベントにも力を入れていて部員全員で楽しんでいます！部員のほとんどが未経験から始める人で、練習の頑張り次第で誰でも試合に出ることができます！ハンドボール部に入って、私たちと一緒に大学生活をさらに楽しいものにしましょう！新歓で皆さんに会えるのを部員一同楽しみにしています！



フットサルサークル >>>

こんにちはフットサルサークルです。フットサルサークルは月に2・3回、外部の体育館を借りて活動をしています。初心者から経験者まで様々な学年が集まり、ワイワイ楽しくゲームをしています。時間が余ったときにはPK合戦などを楽しんでいます。今年はコロナウイルスの影響であまり活動できていませんが、来年度は様子を見つつ再開出来るように願っています。また、大会などにも出られたらいいと考えています。部活に入っている人も多いため、いろんな部活の方と交流することもできますし、様々な部活の方から話を聞くことが出来るのが良い点だと思います。活動は強制ではなく、予定の空いているメンバーが集まっていますので、ぜひ、興味のある方はお時間のある時に参加してみてください。お待ちしております。

ダンスサークルRAMSY >>>

私たちRAMSYは2017年に発足したダンスサークルです。経験、性別を問わずダンスに興味がある人が集まり、学祭と新歓ライブの年2回の発表を目標に頑張っています。現在やっているジャンルはK-POP、ブレイク、HIPHOPなどで、各自が興味のあるジャンルを自由にいくつでも練習するという形式でやっています。RAMSYはサークルなので別の部活との兼部や勉強との両立も可能です。部員の多くが兼部しています。練習は毎週金曜日の午後7時から9時までで、発表前はそれぞれのグループで自主練をして仕上げていきます。部員の大半が大学からダンスを始めているので、初心者でも気軽に参加できますし、学年関係なくアドバイスし合いながら進めていくアットホームなサークルです。実際にどんなダンスをしているか気になった方は、YouTubeで「RAMSY 福井大学」と検索したり、Instagramの投稿を見たりしてもらえば、過去の学祭や新歓ライブの動画が出てくるので、ぜひ1度ご覧ください。少しでも興味のある人は気軽に練習に来てくれると嬉しいです！

[Instagram] ramsy_fukui.dance



軽音部 M-ROCK >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たちは、福井大学医学部の軽音部「M-ROCK」です。

M-ROCKの主な活動内容は、個人およびバンド単位で日々の練習をし、ライブに向けて研鑽を重ね、部内または外部の人に向けて、その成果を発表するというものです。

軽音部と聞くと、敷居が高いと言いますが、なんだか初心者が入りづらかったり、お金がかかると言った、マイナスイメージを持たれている方も少なくないとおもいます。しかし、M-ROCKは違います。初心者の人には、同じバンドや同じ楽器の先輩たちが優しく教えてくれるため、今まで楽器を全く触ったことのない人でも楽しんで活動していただけます。また、経験者の人がその実力を発揮できる場も設けられているため、個人個人が自分の好きなペースで活動できる部活でもあります。さらに、現在の部員の男女比および医学科看護科の人数比は、どちらもおよそ1:1であるため、本当にどなたでも入部していただける部活であると自負しております。

練習はバンドごとに日程を決めて行いますので、バイトや他部活との両立もしやすくなっています。部活動全体としては、毎週水曜日の全体ミーティングがあり、連絡事項の伝達やライブの出演バンドの募集が行われます。また、BBQや海水浴、さらにはUSJへ行くなど、季節ごとのイベントも用意されています。

そして、日頃の練習の成果を発揮する場とも言えるライブは、夏と冬の部内ライブに加えて、学祭ライブや学校外のライブハウスで行われるもの、さらに招待を受けて他大学で行うこともあります。特にライブハウスと他大学でのライブは、普段はあまり交流のない外部の人の演奏を聴くことによって、多くのことを学べる機会でもあります。

新入生の皆さん、新たに始まる大学生活を、M-ROCKとともに過ごしてみませんか。入部お待ちしております。



美術部 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！美術部について紹介します。

美術部では、部員一人一人が作りたいものを自由に制作しています。絵だけでなく、折り紙や刺繍など、思い通りに作品制作を楽しみ、自分のやりたいことを追求しています。部室には油彩や水彩、色鉛筆など豊富な画材や美術関係の書籍、UVレジン液やUVライトなどの道具が置いてあります。部室は作業するスペースとしても、作品や道具を置くスペースとしても活用できます。毎年秋に開催される暁祭では作品の展示を行っています。また、去年は第74回北陸三県大学学生交歓芸術祭にて北陸の他の大学の美術部の方々と交流を行い、作品鑑賞や共同制作などを楽しみました。

美術部の部室は福利棟一階にあります。自分の都合の良い時間に活動できるため兼部もしやすいです。時間的拘束がほとんどないため、思い思いに創作活動をしたい方にピッタリです。興味のある方はお気軽に部室にお越しください。Instagramもありますので、よかったら見に来てください。

【Instagram】fukuimed_art_club



茶道部 >>>

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます！医学部茶道部です。現在は約15名で活動していて、毎週水曜日の17時から裏千家の先生をお招きして、福利棟1階の和室で茶道のお稽古に励んでいます。また、学生茶会、芸交祭、全国学生大茶会、一般の茶会、暁祭など、県内、県外のお茶会に積極的に参加してお茶席を設けており、他大の茶道部の学生や、茶道をしている社会人との関わりも多くあります。新しく何かを始めたい人、お抹茶とお菓子が好きな人、茶道を通して日本の伝統文化や礼儀作法を学びたい人など、少しでも茶道部に興味のある方は一度体験にお越し下さい。初心者大歓迎です。お抹茶と和菓子を用意してお待ちしています。



管弦楽団 >>>

こんにちは！福井大学医学部管弦楽団です。例年40人程度で、医大生と福井県立大学の学生合同で活動しています。メンバーは経験者から初心者まで幅広く、和気あいあいと合奏を楽しんでいます。主な活動内容は、年に一度の定期演奏会（2024年は4月28日に第38回定期演奏会があります。ぜひお越しください！）、公民館・幼稚園・福祉施設などでの依頼演奏、団員でアンサンブルを組んで発表し合う団内発表会、北陸三県と新潟の管弦楽団と合同で2日間に渡って交流する芸交祭、暁祭、合宿など盛りだくさんです。学校楽器の貸し出しもあり、初心者も経験者も大歓迎です！楽器を演奏してみたい、誰かと合奏をしたいと思ったら、ぜひ管弦楽団へ！

【活動日・活動場所】火曜日 18:10～21:00 土曜日 14:00～18:00・福利棟2階部室

【X】@kangen_medfukui 【Instagram】kangengakudan



熱帯医学研究会 >>>

こんにちは。熱帯医学研究会です。新入生の皆さんご入学おめでとうございます！

当サークルはタイのチェンマイ大学医学部と交流し、よりボーダレスな世界での熱帯医学、国際協力の重要性を学ぶサークルです。週や月の定期的な活動はありませんが毎年12月に日本に訪れるチェンマイ大学の学生と交流します。附属病院を案内したり、福井県内を観光します。また希望する人は9月にタイのチェンマイへ行ってチェンマイ大学の附属病院でタイの医療を学ぶことができます。学生さんに市内を観光案内してもらえる機会もあります。

コロナの影響で活動が難しくなっていますが、興味のある方はぜひ来てください！

文藝・漫画研究会 >>>

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。福井大学医学部文藝漫画研究会です。一般的に漫研と呼ばれるサークルで、漫画・アニメ・ゲームなどが好きな人、創作が好きな人など、様々な人が集まっています。

ほとんどの部員は他の部活と兼部していて、毎回の活動も参加は自由です。活動としては、漫画を読む、好きな作品の話をする、イラストを描くなど各々が好きなことをやっています。また、年に3～4回、漫画、イラスト、小説などの創作物をまとめた部誌を制作します。そのうち2回は夏・冬に開催されるコミケで販売します。

部室にはたくさんの漫画、画材、ボードゲームなどもありますので、少しでも当サークルの活動に興味があれば、気軽にお越しください。

HISTRIP >>>

私たちのサークル名である「HISTRIP」とはHISTORYとTRIPを掛けたもので、その名の通り、歴史的な名所を中心に巡っています。訪れる場所や日時はサークルメンバーで話し合って決めており、活動の内容はとても自由です。これまでは、お城を巡ったり、若狭塗の体験に行ったり、海を見にカフェに行ったりしています。メンバーには歴史にめちゃくちゃ詳しい人もいれば、そんなに歴史には詳しくないけど旅行好きだから！と参加している人もいます。例年であれば年に4回ほど活動をしているのですが、最近では状況に応じてオンラインで集まって座談会のような形式でも活動しています。サークルの特性上、なかなか思うように活動できずにいるのですが、常に新しい形で活動をしていこうと思っています。新入生の皆さんといろいろな楽しく活動できるのを心待ちにしています！



救急医療サークルALFA >>>

私たち救急医療サークルALFAでは、主に救急ワークショップというものを通じて活動を行っています。

救急ワークショップ（以下、WS）という言葉は聞き馴染みがないかもしれませんが、簡単に説明すると「体を動かして、楽しく学ぼう！」というものです。

私たちALFAが主催することもあるほか、他大学が開くWSに参加することもあります。具体的には、皆さんも一度は聞いたことがある、胸骨圧迫やAED、そして医療ドラマなどで見かける気管挿管やショックなどをシミュレーターを使って行えます。このWSは北は北海道から南は沖縄まで全国の医療系学生と共に活動しており、特に金沢大学と富山大学とは同じ北陸地域として結束も強く、盛んに交流しています。昨年度からコロナによる規制も緩和され対面でのWSも全国各地で復活し多くの部員が参加しました。

部員のほとんどが兼部をしており、参加も自由です。医療家ならではの救急医療サークルALFAの活動をぜひ一度体験してみませんか。



劇団くらげ >>>

こんにちは。コントほどぶざけてないけど、ドラマほどリアルじゃないけど、目の前の舞台にもう一つの世界が現れる、少人数演劇に興味はありますか？

劇団くらげは福井県立大学と合同で活動しています。部員は合計10名です。演劇というと、劇団四季なんかを思い浮かべる方が多いかもしれませんが、私たちはそんな大層なものではありません。設備はコントに近いです。大学生ですので、学芸会よりは素敵な仕上がりが(はず)です。音響・照明・舞台装置、全て手作りです。機械好き、工作好き、大歓迎です。少人数なので意見が通りやすいです。未経験者大歓迎です。

年間行事は年2回の公演です。例年は10月に医大・県大それぞれの文化祭で公演をしています。あとは1月か2月に学内公演をします。活動は毎週水・金18時～20時です。



アカペラサークル MusicGlass >>>

こんにちは、福井大学医学部アカペラサークルです！

アカペラサークルでは歌うことが好きな人が集まって日々活動しており、部員は現在30人程度です！

イベントが一年を通してたくさんあり、どれも基本的には参加自由なので入部した後も自分のペースで気軽に続けることができます。また、部員のほとんどが兼部しているので兼部の心配はいりません！

～アカペラとは～

アカペラとは声のみを使って楽曲を演奏することである。皆さんがよく耳にするJ-POPや流行りの曲、洋楽など楽器を使わずに声だけで演奏します！基本的には六人で一つのバンドを結成し、それぞれにパートを振り分けられます！

～こんな人におすすめ～

歌うことが好きな人、音楽が好きな人、カラオケが趣味の人、大歓迎です！音楽の経験がなくても大丈夫！初心者をはじめの先輩もサークル内にはたくさんいますし、先輩方が優しく一から教えてくれます！



小児ボランティアサークル >>>

新入生みなさんご入学おめでとうございます。私たち小児ボランティアサークルは平日の夕方に一時間、小児科病棟に入院している子供たちと一緒に遊んでいます。入院中の経験は、初めて経験することも多く、記憶に残りやすいです。つらかった治療の記憶もあれば、同じ病室の子と話したり遊んだりした楽しい記憶もあると思います。私はこの活動が少しでも子供たちの楽しい記憶として残ってもらえればと思っています。一緒に遊び終わって帰る時に、「もっと遊んで」とお願いしてくる子や悲しくなって泣き出す子もいます。こうした子を見ると、今日も来て良かったと感じます。私は入院している子供たちに少しでも元気を届けようと思ってこのサークルに入りましたが、実際に子供たちと遊んでいると、むしろ元気をもらっているのは私であるように感じています。遊んでいる子供の笑顔は本当に可愛いです。興味がある方、是非一緒に活動しましょう。コロナの影響により活動が難しくなっておりますが、小児科からの許可が下り次第再開します。



邦楽部 >>>

新入生みなさん、ご入学おめでとうございます。

私たち邦楽部は週1～月1回の約2時間、福利棟1階の和室でお箏の演奏をしています。ジブリなどの現代曲が中心で、昨年は魔女の宅急便の「海の見える街」などを練習していました。部員数10人ほどの小さいサークルなので、みんなで教え合いながら和気あいあいと活動しています。

お箏の演奏は難しそうと思われるかもしれませんが、楽譜は五線譜ではなく漢字で書かれているので、すぐに演奏できます。部員のほとんどが大学で初めてお箏に触れました。初心者大歓迎です！ゆるい雰囲気や運動部と兼部している部員も多いので、テストやそれぞれの予定に合わせて活動日を決めています。

まずは体験だけでも気軽に覗いてみてくださいね。みなさんと一緒に演奏できることを楽しみにしています。



地域医療サークルぷちぷら >>>

地域医療サークルぷちぷらでは、地域医療やプライマリケアについて学んでいます。学ぶと言っても難しい本や教科書を読まされるわけではありません！メインのイベントは夏に合宿を通じて地域の人と話したり、街巡りをしたり、そばを打ったりします！また勉強会なども不定期で開催しており、その他にも私たちがやりたいことはなんでもできます！もちろんサークルなので参加も兼部も自由です。このようにぷちぷらはとっても自由に活動しています。ぜひぷちぷらを通して仲間と出会い、良い思い出を作りましょう！



留学生交流サークルEXCHANGE >>>

私達は留学生との交流活動を行っています。具体的な活動としては、留学生の歓送迎パーティーや、福井やその近辺の観光、日常生活のお手伝いなど、留学生が楽しく快適な留学生活を送れるよう様々な活動を行っています。活動への参加方法は、まず学内掲示板等のビラに記載の連絡先か、もしくは X (旧 Twitter) で「留学生交流サークルEXCHANGE」を検索し連絡して頂くと、こちらからLINE グループに招待します。その後、留学生の来日期間中にグループLINE でイベントへの参加やお手伝いを募集しますので、それに応答することで自分の好きな時に活動に参加できます。留学生と友達になりたい、実践的な英語能力を身に付けたい、海外に興味があるという方は、是非お待ちしております！コロナ禍で留学生が来日できず活動できていませんでしたが、留学の制限は緩和されてきました。これから留学生も増えてくるのでこの機会に留学生と交流してみませんか？

東洋医学研究会 >>>

東洋医学とは、文字通り東洋で生まれ発展した伝統医学です。その歴史は2000年とも3000年とも、もっと古いという説もあります。東洋医学では、症状からすぐに治療法を決めるのではなく、その人の体質や状態などをふまえ総合的に治療法を判断していきます。なので、同じ鼻風邪であっても、人によって処方方が異なる場合もあります。究極のオーダーメイド医療です！

当サークルでは、このような東洋医学のうち、主に中医学について勉強しています。正確な診断（問診や望診など）をする練習や、古典の読み合わせ、症例検討会などを行なっています。近隣の金沢大学や金沢医科大学と、合同勉強会や合宿も開催しています。

もちろん初心者大歓迎！テスト勉強で疲弊した体で部室に行ったら、先輩があなたの体にあった漢方を処方してくれるかも！？西洋と東洋、二刀流なんて最強です。一緒に楽しく学びましょう。



D-FLAT >>>

こんにちは、災害医療サークルD-FLATです。

皆さんは「災害医療」という言葉は聞いたことがありますか？一言で言うとう災害時に被災地で行われる医療のことです。災害には縁がないという方も多いとは思いますが、2023年度は元旦から能登で地震が発生したり、今後も様々な災害の発災が予想されたりしている中で、医療者としていつかは関わる可能性が高いものでもあります。

そんな、いつかは関わる「災害医療」を学生のうちから勉強してみませんか？

活動は週1回程度に災害医療にまつわる勉強会やゲームなどを自由参加でゆるく行っています。また、このサークルは2023年に新設されたサークルで、まだこれから動き始めの段階です。運営に関わりた方も絶賛募集中です！

ぜひ気軽に覗いてみてください。

第45回 福井大学医学部「暁祭」について

松岡キャンパスでは、毎年10月に福井大学医学部祭として「暁祭」が開催されています。今年度は、2025年10月12日(日)～13日(月・祝)の2日間で開催予定です。

暁祭は、学生同士が親睦を深めるとともに、地域の皆様に本学医学部へのご理解を深めていただくことを目的としています。毎年恒例の学生による模擬店はもちろん、直近の開催にあたる第44回ではお笑い芸人の流れ星さん、過去にはロッチさんや四千頭身さんなどの豪華ゲストをお呼びしており、例年会場は大いに盛り上がりを見せております。

例年、ご入学される皆様に運営資金の一部をご負担していただくことをお願いしております。詳細は新入学生向けにお送りしている別紙「福井大学医学部暁祭に関するお願い」をご確認いただけますと幸いです。何卒、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第45回 福井大学医学部 暁祭実行委員会



ご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

ご寄附総額 31,650,000円 寄附申込数 439件(延べ数)

令和6年1月1日～令和6年12月31日

10万円以上のご寄附を賜りました方のご芳名は以下の通りです（順不同）

友田 明美 様	和田 匡史 様	金田 将治 様	小坂 浩隆 様	高橋 直生 様	竹内 元浩 様
林 寛之 様	市橋 幸三 様	梅田 真 様	稲谷 大 様	長谷川 稔 様	丹羽 弘之 様
濱脇 正好 様	谷島 裕之 様	北井 隆平 様	河原 優 様	石塚 全 様	高村 佳弘 様
深澤 有吾 様	定 清直 様	沢田 武夫 様	有島 英孝 様	山木 源 様	千原 一泰 様
山田 雅己 様	長谷川智子 様	金山ひとみ 様	波崎由美子 様	野宮 廣貴 様	酒巻 一平 様
早稲田優子 様	松岡 達 様	藤枝 重治 様	若松 宏和 様	大谷 昌弘 様	都築 秀明 様
四谷 淳子 様	上原 佳子 様	菅井 学 様	小久保安朗 様	岡田 映子 様	福居 留依 様
竹内 浩明 様	清川 亨 様	大嶋 勇成 様	栗本沙里奈 様	小嶋 章弘 様	諏訪 万恵 様
田邊佐和香 様	前田 浩幸 様	都筑 昌哉 様	永井 竜一 様	田中 浩人 様	江部 晃一 様
樹田 康子 様	鈴木 快文 様	遠山 直志 様	中井 昭夫 様	須藤 弘之 様	西川 雄大 様
天野 雄平 様	和田 政則 様	石黒 和守 様	真鍋 恭弘 様	山村 修 様	田中 健 様
大塚のぞみ 様	伊藤 有未 様	佐藤 大介 様	高嶋 渉 様	小林 実 様	杉本 千鶴 様
西村 崇 様	大森 弘則 様	磯見 智恵 様	長谷川美香 様	長谷川秀男 様	関岡 雄二 様
綱澤 卓也 様	西森 一久 様	福元進太郎 様	福元 千鶴 様	福元 廣次 様	菅野 真史 様
岩崎健太郎 様	森川 充洋 様	武藤 理 様	中村 和彦 様	木村 利男 様	森岡 浩一 様
梅田 仁視 様	羽根聖一郎 様	吉田 好雄 様	松崎 秀夫 様	平工 雄介 様	井川 正道 様
岩崎 博道 様	大坪 俊雄 様	知野 剛直 様	内匠 透 様	菊田健一郎 様	青木 耕史 様
塚原 孝浩 様	山岸 孝広 様	坪川 操 様	岡本 昌之 様	久保田誠一 様	祖父江 展 様
今村 好章 様	安野 哲也 様	木村 幸弘 様	藤原 俊之 様	木村 有一 様	亀山 仁史 様
高橋 仁 様	坂下 雅文 様	加藤 幸宣 様	水野 大地 様	内木 宏延 様	楠川加津子 様
馬場三千代 様	五井 孝憲 様	山路 倫生 様	山路 敦子 様	木村 秀樹 様	桑原 慎治 様
高林 哲司 様	神谷敬一郎 様	糟野 健司 様	津山 博 様	田中 信之 様	

以上 131名（R7.2.26現在） その他 10万円未満の方 278名

ふるさと納税制度を用いた福井大学医学部応援のお願い >>>

福井大学医学部は、福井医科大学医学科として1980年（昭和55年）に開学し、これまでに約3,900名が卒業し、第46期生が2025年から医師を目指しています。

看護学科は、1997年（平成9年）に設置され、今年29期生が入学し看護師・保健師・助産師を目指しています。

医学部では、最新の医学・看護学知識や技術のみならず、人と社会を健やかにする愛と人命を尊重する信条を学生に提供することで、グローバル社会で活躍できる優れた能力を有し、かつ社会に貢献できる愛に満ちた医療人、さらには次世代の医学・看護学を開拓できる人材を養成したいと考えています。同時に、世界レベルの画期的な研究成果を目指して基礎研究・臨床研究を行うことで、人々の病気克服と健康維持に貢献したいと思っています。そのため高い学習効果が期待できるカリキュラム作成、福井大学発のF-CES Sという実際の診療カルテにリンクした学生電子カルテを使用、語学演習室を整備し臨床に通用する英語習得、がん・神経（発達障害・認知症）・アレルギー免疫等の疾患克服を目指した先進的研究、新たな医療技術開発や地域医療、災害医療の向上を目指した研究、こころを反映した脳科学の見える化を目指しています。

今回、これら事業の実現に向けて、卒業生を含め広く学内外の皆様から永平寺町のふるさと納税制度を利用して、福井大学医学部の教育・研究活動の支援や魅力ある医学部・松岡キャンパスづくりのための環境整備等に活用させていただきたいと考えております。

次世代を担う福井大学医学部学生のために、ふるさと納税制度を活用したご寄附にご理解とご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

今までの整備状況

福利棟一部部室を改装

- ・はがれかけた壁紙と床を一新



改修後

ガラス除けのバードピン設置

- ・図書館屋上



- ・バードピン



「ふるさと納税制度を用いた福井大学医学部応援のお願い」

<https://www.med.u-fukui.ac.jp/furusato/>



「福井大学基金（羽ばたけ基金）[®]」へのご寄附のお願い

福井大学基金は、全学生を対象とした経済的に修学が困難な学生や障害のある学生への修学支援、卓越高度専門職業人育成支援を目的にしています。医学部関係では、令和6年度は、卓越優秀学生への表彰や、能登半島地震で被災した学生への修学支援金としても活用させていただきました。次世代を担う学生達を守り育てるため、皆様のご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

〈学生さんからの感謝のメッセージ〉

◆支援してくださった皆様ありがとうございます。皆様のおかげで学業に励むことができます。大学生活での経験、学びを生かして将来看護師として社会に貢献することが、支援してくださった皆様への恩返しだと思い頑張りたいと思います。

「ふるさと納税制度を利用した福井大学基金への応援」について

「福井大学基金（羽ばたけ基金）[®]」は、福井県のふるさと納税「県内大学の魅力向上応援」からのご寄附も可能です。

福井大学基金、福井県のふるさと納税を活用したご寄附の詳細については、福井大学基金ホームページをご覧ください。 <https://www.u-fukui.ac.jp/kikin/>





後輩たちと円陣を組み、国家試験合格を誓う

編集後記 >>> 編集委員 山田 雅己

新入生の皆さん並びにご関係者の皆様、ご入学おめでとうございます！

本学医学部で新たな学びの一步を踏み出された皆さんに、心からお祝い申し上げます。これからの大学生活は、皆さんにとって成長の大きなチャンスとなります。医療の現場では、専門知識や技術だけでなく、思いやりや人間力も欠かせません。異なる価値観や文化を持つ患者さんと向き合う中で、柔軟な心と深い理解が求められます。患者さんとの信頼関係が最良の治療を実現します。皆さんには「人を助けたい」「心を込めて治療に取り組みたい」という気持ちを大切に、自らが選んだ道を全うして欲しいと思います。

医療はもはや一国の問題ではなく、国際的な視野が必要です。近年、私たちが直面した感染症や医療アクセスの問題など、世界規模での課題に取り組むためには、異文化理解と国際的な連携が不可欠です。これからの皆さんの学びが、世界中の人々の健康を支える力となることを願っています。

大学生活は様々な場面で厳しいこともあるかもしれませんが、仲間と支え合い、常に挑戦を楽しんでください。皆さんの学びが、必ずや未来の医療に貢献することを確認しています。未来に向かって、全力で進んでください。心より応援しています。

医学部広報誌編集委員会 >>>

- 委員長 清野 泰 (高エネルギー医学研究センター)
- 委員 藤原 哲也 (応用言語学[医学英語])
- 委員 稲谷 大 (眼科学)
- 委員 山田 雅己 (分子生体情報学)
- 委員 礪波 利圭 (基盤看護学)

編集：松岡キャンパス学務課学生担当

福井大学では令和4年4月1日に福井県が推進する「ふくいSDGsパートナー」に登録され、今後もSDGsの達成に資する活動を実践するとともに、活動状況を積極的に配信していきます。

令和5年度から医学部広報誌「くずりゅう」は印刷冊数を減らし、インターネットで配信することでSDGsの活動に取り組みます。

